

表2 その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(2/4)

施設	施設の使用目的	性状・貯蔵/保管状況等		放射能量等		
廃棄物処理場 (AAF)	低放射性的の液体廃棄物の処理及び低放射性的の固体廃棄物の処理	低放射性濃縮廃液	廃液(貯槽) B2F~B1F	約581 m ³	~10 ¹⁴ Bq	C-14 FP (I-129, Cs-137 等)
		低放射性廃液	廃液(貯槽, ライ ニング貯槽, 蒸発 缶) B2F~1F	約393m ³	~10 ¹² Bq	C-14 FP (I-129, Cs-137 等)
		廃溶媒	廃液(貯槽) B2F	約19 m ³	~10 ⁹ Bq	FP (Cs-137等)
		低放射性固体廃棄物	カートンボック ス, プラスチック 製容器, ビニル 袋, ドラム缶及び コンテナ 1F, 2F	約13 t	~10 ⁹ Bq	FP (Cs-137等)
		ヨウ素フィルタ (AgX)	保管容器に保管 1F	30基	-	FP (I-129)
		ヨウ素フィルタ (活性炭)	保管容器に保管 1F	3基	-	FP (I-129)
クリプトン回収技 術開発施設 (Kr)	クリプトンガスの貯 蔵	クリプトンガス	気体(シリンダ) B1F	4本	9.0×10 ¹⁴ Bq	Kr
高放射性固体廃棄 物貯蔵庫 (HASWS)	高放射性的の固体廃棄 物の貯蔵	雑固体廃棄物, ハルエンドピース等	ハル缶等 (セル)	約576.8 m ³	~10 ¹⁵ Bq (プール水は ~10 ¹⁴ Bq)	FP (Cs-137等)
		分析廃ジャグ等	分析廃棄物用容器 (セル)	約278.1 m ³		FP (Cs-137等)
プルトニウム転換 技術開発施設 (PCDF)	MOX粉末の貯蔵	U溶液	溶液 (貯槽) B1F	約27 L	■	U
		MOX粉末	貯蔵容器 (貯蔵ホール) B1F	47基	■	Pu U
		凝集沈殿焼体	ポリビン等 (保管庫) 1F	103個	■	Pu U
		中和沈殿焼体	ポリビン等 (GB) 1F	30個	■	Pu U
		中和沈殿焼体	貯蔵容器 (貯蔵ホール) B1F	2基	■	Pu U
第二高放射性固体 廃棄物貯蔵施設 (2HASWS)	高放射性的の固体廃棄 物の貯蔵	雑固体廃棄物, ハルエンドピース等	ドラム容器 (貯蔵ラック10段 積) B2F~B1F	約1458本	~10 ¹⁵ Bq (プール水は ~10 ¹³ Bq)	FP (Cs-137等)
アスファルト固化 処理施設 (ASP)	低放射性的の液体廃棄 物の貯蔵	低放射性濃縮廃液	廃液(貯槽) B2F	約93 m ³	~10 ¹³ Bq	FP (Cs-137等)

※「廃止措置計画変更認可申請書 別添 6-1-3-4「高放射性廃液貯蔵場(HAW)、ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟及びそれらに関連する施設以外に分離精製工場(MP)等の施設の外部事象に対する安全対策に関する説明書」の表 3-1「その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(令和2年6月末時点)」に工程洗浄により施設から取り出されるもの・クリプトンガスの管理放出により施設からなくなったものを斜線にて示した。

表2 その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(3/4)

施設	施設の使用目的	性状・貯蔵/保管状況等		放射能量等		
アスファルト固化体貯蔵施設 (AS1)	アスファルト固化体等の貯蔵	アスファルト固化体	ドラム缶 (4本/フレーム 収納6段積) B1F~1F	13,754本	~10 ¹⁴ Bq	C-14 FP (I-129, Cs-137 等)
		プラスチック固化体		828本		FP (Cs-137等)
スラッジ貯蔵場 (LW)	スラッジ等の貯蔵	廃溶媒	廃液 (貯槽) 1F	約34 m ³	~10 ¹⁰ Bq	FP (Cs-137等)
		スラッジ	廃液 (貯槽) 1F	約285 m ³	~10 ⁸ Bq	FP (Cs-137等)
第三低放射性廃液蒸発処理施設 (Z)	低放射性の液体廃棄物の処理	低放射性濃縮廃液	廃液 (ライニング貯槽)	約849 m ³	~10 ¹² Bq	FP (Cs-137等)
		低放射性廃液	廃液 (貯槽, 蒸発缶) B2F, 1F~3F	約371 m ³	~10 ⁹ Bq	FP (Cs-137等)
第二スラッジ貯蔵場 (LW2)	スラッジ等の貯蔵	低放射性濃縮廃液	廃液 (ライニング貯槽)	約561 m ³	~10 ¹² Bq	FP (137Cs等)
		スラッジ	廃液 (ライニング貯槽)	約874 m ³	~10 ⁹ Bq	FP (137Cs等)
第二低放射性廃液蒸発処理施設 (E)	低放射性の液体廃棄物の処理	低放射性廃液 (運転時)	廃液 (蒸発缶) B1F~3F	約5 m ³	~10 ⁵ Bq	FP (Cs-137等)
廃溶媒貯蔵場 (WS)	廃溶媒の貯蔵	廃溶媒	廃液 (貯槽) B1F	約55 m ³	~10 ¹⁰ Bq	FP (Cs-137等)
放出廃液油分除去施設 (C)	低放射性の液体廃棄物の処理及び放出	低放射性廃液	廃液 (貯槽) B1F	約788 m ³	~10 ¹⁰ Bq	H-3
		スラッジ	廃液 (貯槽) B1F	約3 m ³	~10 ⁵ Bq	FP (Cs-137等)
		廃活性炭	廃液 (貯槽) B1F	約88 m ³	~10 ¹⁰ Bq	FP (Cs-137等)
第二アスファルト固化体貯蔵施設 (AS2)	アスファルト固化体等の貯蔵	アスファルト固化体	ドラム缶 (4本/パレット 収納3段積) B1F~2F	16,213本	~10 ¹⁴ Bq	C-14 FP (I-129, Cs-137 等)
		プラスチック固化体		984本		FP (Cs-137等)
		雑固体廃棄物		19本		FP (Cs-137等)
ウラン脱硝施設 (DN)	ウランの脱硝	U溶液	溶液 (貯槽) B1F	約8.1 m ³	■	U

※「廃止措置計画変更認可申請書 別添 6-1-3-4「高放射性廃液貯蔵場(HAW)、ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟及びそれらに関連する施設以外の分離精製工場(MP)等の施設の外部事象に対する安全対策に関する説明書」の表 3-1「その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(令和2年6月末時点)」に工程洗浄により施設から取り出されるもの・クリプトンガスの管理放出により施設からなくなったものを斜線で示した。

表2 その他の施設における放射性物質の貯蔵・保管の状況(4/4)

施設	施設の使用目的	性状・貯蔵/保管状況等		放射能量等		
低放射性濃縮廃液貯蔵施設 (LWSF)	低放射性の廃液などの貯蔵	低放射性濃縮廃液	廃液 (貯槽・ライニング貯槽) B2F~B1F	約1,054 m ³	~10 ¹³ Bq	C-14 FP (I-129, Cs-137 等)
		リン酸廃液	廃液 (貯槽) B2F~B1F	約16 m ³	~10 ¹¹ Bq	FP (Cs-137等)
廃溶媒処理技術開発施設 (ST)	廃溶媒, 廃希釈剤の処理	廃溶媒	廃液 (貯槽) B2F	約6 m ³	~10 ⁹ Bq	FP (Cs-137等)
ウラン貯蔵所 (UO3)	ウラン製品の貯蔵	ウラン製品 (三酸化ウラン粉末)	三酸化ウラン容器 (バードケージ)	238本	■	UO ₃
焼却施設 (IF)	低放射性の可燃性固体廃棄物等の焼却処理	低放射性固体廃棄物 (可燃)	カートンボックス, プラスチック製容器及びビニル袋 B1F~3F	約740 kg	~10 ⁷ Bq	FP (Cs-137等)
		焼却灰	ドラム缶 B1F	約690 kg	~10 ⁹ Bq	
		希釈剤 (回収ドデカン)	貯槽内 B1F	約200 L	~10 ⁸ Bq	
		廃活性炭	貯槽内 3F	約150 kg	~10 ⁸ Bq	
第二低放射性固体廃棄物貯蔵場 (2LASWS)	低放射性の固体廃棄物の貯蔵	雑固体廃棄物	ドラム缶 (4本/パレット 収納3段積) コンテナ (3段積) B1F~2F	約11,615 本	~10 ¹² Bq	FP (Cs-137等) Pu U
第二ウラン貯蔵所 (2UO3)	ウラン製品の貯蔵	ウラン製品 (三酸化ウラン粉末)	三酸化ウラン容器 (バードケージ) 1F	1,828本	■	UO ₃
第一低放射性固体廃棄物貯蔵場 (1LASWS)	低放射性の固体廃棄物の貯蔵	雑固体廃棄物	ドラム缶 (4本/パレット 収納3段積) コンテナ (3段積) B1F~5F	約33,323 本	~10 ¹³ Bq	FP (Cs-137等) Pu U
第三ウラン貯蔵所 (3UO3)	ウラン製品の貯蔵	ウラン製品 (三酸化ウラン粉末)	三酸化ウラン容器 (コンクリートピット) 1F	585本	■	UO ₃

表3 その他施設の危険物（少量危険物※を含む。）及び指定可燃物の取扱い量

可燃物・危険物を保有する施設		危険物・可燃物の種類		届出における 最大数量	在庫量 (R5.3時点)
施設名	略称	危険物の分類等	品名		
分離精製工場	MP	第一類 亜硝酸塩類	亜硝酸ソーダ	2600 kg	0 kg
		第四類 第三石油類	リン酸トリブチル (TBP)	15000 L	0 L
		第四類 第三石油類	ドデカン	35000 L	0 L
		第四類 第三石油類	熱媒油	380 L	98 L
		第四類 第三石油類	ヒドラジン (水溶性)	1000 L	0 L
		第四類 第四石油類	作動油	829 L	829 L
高放射性固体廃棄物貯蔵庫	HASWS	指定可燃物	合成樹脂類(分析廃材)	40000 kg	23080 kg
アスファルト固化体貯蔵施設	AS1	指定可燃物	合成樹脂類	150000 kg	99360 kg
第二アスファルト固化体貯蔵施設	AS2	指定可燃物	ぼろ及び紙くず	195000 kg	0 kg
		指定可燃物	可燃性固体類	20000 kg	950 kg
		指定可燃物	合成樹脂	480000 kg	118080 kg
第一低放射性固体廃棄物貯蔵場	1LASWS	第四類 第四石油類	作動油	7950 L	7950 L
第二低放射性固体廃棄物貯蔵場	2LASWS	第四類 第四石油類	作動油	1771 L	1771 L
スラッジ貯蔵場	LW	第四類 第三石油類	リン酸トリブチル (TBP)、ドデカン (廃溶媒)	39040 L	33400 L
廃溶媒貯蔵場	WS	第四類 第三石油類	リン酸トリブチル (TBP)、ドデカン (廃溶媒)	79676 L	54200 L
廃棄物処理場	AAF	第四類 第三石油類	リン酸トリブチル (TBP)、ドデカン (廃溶媒)	38200 L	18700 L
		指定可燃物	ぼろ及び紙くず	30000 kg	16012 kg
廃溶媒処理技術開発施設	ST	第四類 第三石油類	リン酸トリブチル (TBP)、ドデカン (廃溶媒)	88380 L	28080 L
		指定可燃物	エポキシ樹脂	2100 L	1300 L
焼却施設	IF	第四類 第二石油類	ケロシン、オクチル酸カルシウム	3523 L	0 L
		第四類 第三石油類	リン酸トリブチル (TBP)、ドデカン (廃溶媒)	2403 L	178 L
アスファルト固化処理施設	ASP	指定可燃物	アスファルト原料	22500 kg	6625 kg

※ 少量危険物は消防法で定められた指定数量に満たない危険物（法人事業所の場合は指定数量の5分の1以上、指定数量未満のものをいう。）

表4 セル内に設置する防護対象設備等(防護対象及び可燃物)に対する火災防護対策の類型化

施設	No.	防護対象				防護対象を貯蔵する機器等				防護対象を設置するセル等		用い込む境界	①防護対象の消防法上の取扱い		②セル内の防護対象以外の発火源の有無			火災感知の方法	消火方法 【初期消火に要する時間】	火災時の影響評価
		対象	性状等	危険物・可燃物場合はその濃度、量など	貯蔵状態	機器名	機器番号	機器の構成材料	部屋名	部屋番号	部屋の構成材料		無し	危険物・可燃物	人の立入り	計装・電気機器等				
分館精製工場	MP-06	使用済燃料	使用済燃料	-	水を充てんした水密コナチナ内に貯蔵水密コナチナは水中で貯蔵	水密コナチナ	-	ステンレス鋼: 4mm以上	予備貯蔵プール 濃縮ウラン貯蔵プール	R010 R017	コンクリート: 50cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し	無し	無し (水中に防護対象を貯蔵しており物理的に侵入不可)	有り (水中中等等)	無し	無し	無し	防護対象は水中に貯蔵しており、発火源から火災が発生したとしても燃焼が止まることにより、火災による放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	MP-07	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約27800 L	機器内に貯蔵	洗浄液受槽 溶解槽溶液受槽 調整槽 給液槽 高放射性廃液中間貯槽 高放射性廃液中間貯槽	242V 3 243V10 251V10 251V11 252V 3 252V14	ステンレス鋼: 6mm以上	給液調整セル	R006	コンクリート: 110cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	無し	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	MP-08	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約140 L	機器内に貯蔵	バルスフィルタ	243F16A	ステンレス鋼: 8mm以上	放射性配管分枝室	R026	コンクリート: 100cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	無し	無し	無し	同上
	MP-09	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約500 L	機器内に貯蔵	プルトニウム溶液受槽	276V20	ステンレス鋼: 10mm以上	リワークセル	R008	コンクリート: 125cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	再処理運転中は、同セル内の他機器でデブリカンを使用していた。廃止措置に入りデブリカンの取出を終えており、今後使用しない。	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	温度警報装置 (DT)	水噴霧消火 (手動)	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	MP-10	低濃度のPu溶液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約2000 L	機器内に貯蔵	プルトニウム製品貯槽	267V13~V16	ステンレス鋼: 8mm以上	プルトニウム製品貯蔵セル	R041	コンクリート: 50cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	無し	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	MP-11	低濃度のPu溶液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約2100 L	機器内に貯蔵	プルトニウム製品貯槽	267V10~V12	ステンレス鋼: 6mm以上	プルトニウム製品貯蔵セル	R023	コンクリート: 50cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	無し	無し	無し	同上
	MP-12 MP-37	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約890 L	機器内に貯蔵	希釈槽 中間貯槽	266V 3 266V12	ステンレス鋼: 6mm以上	プルトニウム精製セル	R015	コンクリート: 25cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	再処理運転中は、同セル内の他機器でデブリカンを使用していた。廃止措置に入りデブリカンの取出を終えており、今後使用しない。	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	セル内に撹拌機を設置しているが撹拌機であること、空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	温度警報装置 (DT)	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	MP-17	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約2000 L	機器内に貯蔵	濃縮液受槽	273V50	ステンレス鋼: 6mm以上	酸回収セル	R020	コンクリート: 62cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	無し	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	MP-18	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約3000 L	機器内に貯蔵	高放射性廃液濃縮発缶	271E20	ステンレス鋼: 8mm以上	高放射性廃液濃縮セル	R018	コンクリート: 141cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	無し	無し	無し	同上
	MP-34	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約140 L	機器内に貯蔵	バルスフィルタ	2 3F16	ステンレス鋼: 8mm以上	分離第1セル	R107A	コンクリート: 85cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	再処理運転中は、同セル内の他機器でデブリカンを使用していた。廃止措置に入りデブリカンの取出を終えており、今後使用しない。	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	セル内に撹拌機を設置しているが撹拌機であること、空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	温度警報装置 (DT)	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	MP-35	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約4000 L	機器内に貯蔵	中間貯槽	255V12	ステンレス鋼: 5.5mm以上	分離第3セル	R109B	コンクリート: 85cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	再処理運転中は、同セル内の他機器でデブリカンを使用していた。廃止措置に入りデブリカンの取出を終えており、今後使用しない。	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	セル内に撹拌機を設置しているが撹拌機であること、空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	温度警報装置 (DT)	水噴霧消火 (手動)	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	MP-36	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約6000 L	機器内に貯蔵	中間貯槽	261V12	ステンレス鋼: 7mm以上	ウラン精製セル	R114	コンクリート: 20cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	再処理運転中は、同セル内の他機器でデブリカンを使用していた。廃止措置に入りデブリカンの取出を終えており、今後使用しない。	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	セル内に撹拌機を設置しているが撹拌機であること、空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	温度警報装置 (DT)	水噴霧消火 (手動)	無し	同上
	MP-42	放射性廃液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約18000 L	機器内に貯蔵	高放射性廃液貯槽	272V12, V14	ステンレス鋼: 19mm以上	高放射性廃液貯蔵セル	R017	コンクリート: 136cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	無し	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	MP-3	放射性廃液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量: 約90000 L	機器内に貯蔵	高放射性廃液貯槽	272V16	ステンレス鋼: 19mm以上	高放射性廃液貯蔵セル	R016	コンクリート: 136cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	無し (消防法上の危険物に該当しない(硝酸濃度70%未満))	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	空気の計装を使用するとともに、セル内の配線はシース内に収めているため、発火源とならない。	無し	無し	無し	同上
	MP-3	せん断粉末	使用済燃料のせん断粉末 (工程洗浄により取出済)	-	-	-	-	-	除染保守セル	R333	コンクリート: 135cm以上 (床ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	有り (セル内グリーン、パワーモニター、照明等)	温度警報装置 (DT)	炭酸ガス消火 (手動)	無し	防護対象は既に取出済みであり、同セル内の発火源から火災が発生したとしても火災により有意な放射性物質の放出に至ることはない。
	ウラン灰処理施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
プルトニウム転換技術開発施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クリプトン回収技術開発施設	Kr-01	クリプトンガス	放射性物質を含む気体 Kr-管理放出により取出済	-	機器内に貯蔵	クリプトン貯蔵シリンダ	K21V109~V122	ステンレス鋼: 12.7mm以上	クリプトン貯蔵セル	R003A	コンクリート: 90cm以上	機器	無し	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	無し (「バージ」式の計装を使用し、配線はシース内に収められているため、発火源とならない。)	温度上限注意 (TW+)	無し	無し	防護対象は既に取出済みであり、また、同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	Kr-02	クリプトン固体化	放射性物質を含む金属固体	-	セル内に貯蔵	容器	-	ステンレス鋼: 5mm以上	固定化試験セル	R00 B	コンクリート: 45cm以上	機器	無し	無し	無し (「開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可」)	有り (「試験用監視カメラ等」)	無し	無し	無し	防護対象を収納する容器は、金属で構成されており、同セル内の発火源から燃焼することはないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
ウラン貯蔵所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第二ウラン貯蔵所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表4 セル内に設置する防護対象設備等(防護対象及び可燃物)に対する火災防護対策の類型化

施設	No.	防護対象		危険物・可燃物場合はその高さ、量など	貯蔵状態	防護対象を貯蔵する機器等			防護対象を設置するセル等		閉じ込め境界	①防護対象の消防法上の取り扱い		②セル内の防護対象以外の発火源の有無			火災感知の方法	消火方法【初期消火に要する時間】	火災時の影響評価				
		対象	性状等			機器名	機器番号	機器の構成材料	部屋名	部屋番号		部屋の構成材料	危険物・可燃物	人の立入り	計装・電気機器等								
第三ラウン貯蔵所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
高放射性 固体廃棄物貯蔵庫	HASWS-01	分析ジャグ等	放射性物質を含む合成樹脂類	最大 4000kg	セル内に貯蔵	容器	-	ポリエチレン	予備貯蔵庫	R 30	コンクリート:70cm以上 (床ステンレス仕上げ)	セル	無し 有り 指定可燃物	無し	無し	無し	無し	無し	無し	温度検知装置	セル内放水装置(手動) 【2h以内】	防護対象から火災が発生した場合、温度検知装置により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、セルの耐火時間以内にセル内放水装置を用いて消火を行う。放射性物質はセル内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。	
	HASWS-02	雑固体廃棄物 (ハルエンドピース等)	放射性物質を含む固体廃棄物	-	セル内(水中)に貯蔵	廃棄物収納缶	-	金属:4mm以上	ハル貯蔵庫	R 31	コンクリート:160cm (床ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	温度警報装置(DT)	無し	防護対象は水中に貯蔵しており、同セル内に発火源となるものもなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。以上のことから、火災設備がなくとも問題ない。
	HASWS-3	雑固体廃棄物 (ハルエンドピース等)	放射性物質を含む固体廃棄物	-	セル内(水中)に貯蔵	廃棄物収納缶	-	金属:4mm以上	ハル貯蔵庫	R 32	コンクリート:160cm (床ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	温度警報装置(DT)	無し	同上
	HASWS-04	分析ジャグ等	放射性物質を含む合成樹脂類	最大 1600kg	セル内に貯蔵	容器	-	ポリエチレン	汚染機器類貯蔵庫	RA00	コンクリート:75cm以上	セル	(消防法上の指定可燃物に該当しない 300kg未満)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	温度検知装置	消火器具(手動) CO2消火器(手動) 【2h以内】	防護対象から火災が発生した場合、温度検知装置により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、セルの耐火時間以内にセル内放水装置を用いて消火を行う。放射性物質はセル内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。
	HASWS-05	分析ジャグ等	放射性物質を含む合成樹脂類	最大 1400kg	セル内に貯蔵	容器	-	ポリエチレン	汚染機器類貯蔵庫	RA01	コンクリート:75cm以上	セル	(消防法上の指定可燃物に該当しない 300kg未満)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	温度検知装置	消火器具(手動) CO2消火器(手動) 【2h以内】	同上
	HASWS-06	分析ジャグ等	放射性物質を含む合成樹脂類	最大 1000kg	セル内に貯蔵	容器	-	ポリエチレン	汚染機器類貯蔵庫	RA02	コンクリート:75cm以上	セル	(消防法上の指定可燃物に該当しない 300kg未満)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	温度検知装置	消火器具(手動) CO2消火器(手動) 【2h以内】	同上
	HASWS-07	分析ジャグ等	放射性物質を含む合成樹脂類	最大 1000kg	セル内に貯蔵	容器	-	ポリエチレン	汚染機器類貯蔵庫	RA03	コンクリート:75cm以上	セル	(消防法上の指定可燃物に該当しない 300kg未満)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	温度検知装置	消火器具(手動) CO2消火器(手動) 【2h以内】	同上
	HASWS-08	分析ジャグ等	放射性物質を含む合成樹脂類	最大 1000kg	セル内に貯蔵	容器	-	ポリエチレン	汚染機器類貯蔵庫	RA04	コンクリート:75cm以上	セル	(消防法上の指定可燃物に該当しない 300kg未満)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	温度検知装置	消火器具(手動) CO2消火器(手動) 【2h以内】	同上
	HASWS-09	分析ジャグ等	放射性物質を含む合成樹脂類	最大 1000kg	セル内に貯蔵	容器	-	ポリエチレン	汚染機器類貯蔵庫	RA05	コンクリート:75cm以上	セル	(消防法上の指定可燃物に該当しない 300kg未満)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	温度検知装置	消火器具(手動) CO2消火器(手動) 【2h以内】	同上
	HASWS-10	分析ジャグ等	放射性物質を含む合成樹脂類	最大 1000kg	セル内に貯蔵	容器	-	ポリエチレン	汚染機器類貯蔵庫	RA06	コンクリート:75cm以上	セル	(消防法上の指定可燃物に該当しない 300kg未満)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	温度検知装置	消火器具(手動) CO2消火器(手動) 【2h以内】	同上
第二高放射性 固体廃棄物貯蔵施設	2HASWS-01	雑固体廃棄物 (セル内廃材等)	放射性物質を含む固体廃棄物	-	セル内に貯蔵	廃棄物収納缶	-	金属:4mm以上	乾式貯蔵セル	RO02	コンクリート:120cm以上 (床ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものもなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	2HASWS-02	雑固体廃棄物 (ハルエンドピース等)	放射性物質を含む固体廃棄物	-	セル内(水中)に貯蔵	廃棄物収納缶	-	金属:4mm以上	湿式貯蔵セル	RO03	コンクリート:160cm (床ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	防護対象は水中に貯蔵しており、同セル内に発火源となるものもなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	2HASWS-3	雑固体廃棄物 (ハルエンドピース等)	放射性物質を含む固体廃棄物	-	セル内(水中)に貯蔵	廃棄物収納缶	-	金属:4mm以上	湿式貯蔵セル	RO04	コンクリート:160cm (床ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上
アスファルト固化体 貯蔵施設	AS1-01	アスファルト固化体 プラスチック固化体	放射性物質を含む固体 放射性物質を含む合成樹脂類	合成樹脂類 最大 150t (R051, R052, R151及び R152の合計)	セル内に貯蔵	容器	-	金属:1.2mm以上	貯蔵セル	R051	コンクリート	セル	指定可燃物	無し	有り (クレーン、監視カメラ等)	有り (クレーン、監視カメラ等)	無し	有り	無し	分布型感知器 温度警報装置(DT) 煙感知器(FDS)	水噴霧消火(手動)	防護対象やセル内の他の発火源から火災が発生した場合、分布型感知器及び温度警報装置により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、セルの耐火時間以内に水噴霧消火装置を用いて消火を行う。放射性物質はセル内で閉じ込められ有意な放射性物質の放出に至ることはない。	
	AS1-02	アスファルト固化体 プラスチック固化体	放射性物質を含む固体 放射性物質を含む合成樹脂類	合成樹脂類 最大 150t (R051, R052, R151及び R152の合計)	セル内に貯蔵	容器	-	金属:1.2mm以上	貯蔵セル	R052	コンクリート	セル	指定可燃物	無し	有り (クレーン、監視カメラ等)	有り (クレーン、監視カメラ等)	無し	有り	無し	分布型感知器 温度警報装置(DT) 煙感知器(FDS)	水噴霧消火(手動)	同上	
	AS1-04	アスファルト固化体 プラスチック固化体	放射性物質を含む固体 放射性物質を含む合成樹脂類	合成樹脂類 最大 150t (R051, R052, R151及び R152の合計)	セル内に貯蔵	容器	-	金属:1.2mm以上	貯蔵セル	R151	コンクリート	セル	指定可燃物	無し	有り (クレーン、監視カメラ等)	有り (クレーン、監視カメラ等)	無し	有り	無し	分布型感知器 温度警報装置(DT) 煙感知器(FDS)	水噴霧消火(手動)	同上	
	AS1-05	アスファルト固化体 プラスチック固化体	放射性物質を含む固体 放射性物質を含む合成樹脂類	合成樹脂類 最大 150t (R051, R052, R151及び R152の合計)	セル内に貯蔵	容器	-	金属:1.2mm以上	貯蔵セル	R152	コンクリート	セル	指定可燃物	無し	有り (クレーン、監視カメラ等)	有り (クレーン、監視カメラ等)	無し	有り	無し	分布型感知器 温度警報装置(DT) 煙感知器(FDS)	水噴霧消火(手動)	同上	
	AS2-01	雑固体廃棄物 プラスチック固化体	放射性物質を含む可燃性固体、ばら及び紙くず 放射性物質を含む合成樹脂類	ばら及び紙くず 最大 195t 可燃性固体類 最大 20t 合成樹脂類 最大 480t (R051,R151,R251の合計)	セル内に貯蔵	容器	-	金属:1.2mm以上	貯蔵セル	R051	コンクリート:100cm以上	セル	指定可燃物	無し	無し	有り (フォークリフト、監視カメラ等)	有り (フォークリフト、監視カメラ等)	無し	有り	分布型感知器 温度警報装置(DT)	水噴霧消火(手動)	同上	
第二アスファルト固化体 貯蔵施設	AS2-10	雑固体廃棄物 アスファルト固化体 プラスチック固化体	放射性物質を含む可燃性固体、ばら及び紙くず 放射性物質を含む合成樹脂類	ばら及び紙くず 最大 195t 可燃性固体類 最大 20t 合成樹脂類 最大 480t (R051,R151,R251の合計)	セル内に貯蔵	容器	-	金属:1.2mm以上	貯蔵セル	R151	コンクリート:100cm以上	セル	指定可燃物	無し	有り (フォークリフト、監視カメラ等)	有り (フォークリフト、監視カメラ等)	無し	有り	分布型感知器 温度警報装置(DT)	水噴霧消火(手動)	同上		
	AS2-11	雑固体廃棄物 アスファルト固化体 プラスチック固化体	放射性物質を含む可燃性固体、ばら及び紙くず 放射性物質を含む合成樹脂類	ばら及び紙くず 最大 195t 可燃性固体類 最大 20t 合成樹脂類 最大 480t (R051,R151,R251の合計)	セル内に貯蔵	容器	-	金属:1.2mm以上	貯蔵セル	R251	コンクリート:100cm以上	セル	指定可燃物	無し	有り (フォークリフト、監視カメラ等)	有り (フォークリフト、監視カメラ等)	無し	有り	分布型感知器 温度警報装置(DT)	水噴霧消火(手動)	防護対象やセル内の他の発火源から火災が発生した場合、分布型感知器及び温度警報装置により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、セルの耐火時間以内に水噴霧消火装置を用いて消火を行う。放射性物質はセル内で閉じ込められ有意な放射性物質の放出に至ることはない。		
第一低放射性 固体廃棄物貯蔵庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

表4 セル内に設置する防護対象設備等(防護対象及び可燃物)に対する火災防護対策の類型化

施設	No.	防護対象				防護対象を貯蔵する機器等				防護対象を設置するセル等		用いぬ境界	①防護対象の消防法上の取り扱い			②セル内の防護対象以外の発火源の有無			火災感知の方法	消火方法 【初期消火に要する時間】	火災時の影響評価
		対象	性状等	危険物・可燃物場合はその濃度、量など	貯蔵状態	機器名	機器番号	機器の構成材料	部屋番号	部屋の構成材料	危険物・可燃物		人の立入り	計装・電気機器等							
第二低放射性固体廃棄物貯蔵場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
スラッジ貯蔵場	LW-01	廃液	放射性物質を含むTBPドデカン	最大19940 ℓ	機器内に貯蔵	廃液貯蔵槽	333V10	ステンレス鋼: 8mm以上	廃液貯蔵セル	R031	コンクリート: 55 cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	危険物 第四類	無し	無し 【開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可】	無し 【(表面計は保護管に覆われるとともに、配線シース内に納めているため発火源と見なされない)】	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	廃液ガス消火設備 (自動、手動) 水噴霧消火設備 (手動)	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はなかったため、有意な放射性物質の放出に達することはない。以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。	
	LW-02	廃液	放射性物質を含むTBPドデカン	最大19940 ℓ	機器内に貯蔵	廃液貯蔵槽	333V11	ステンレス鋼: 8mm以上	廃液貯蔵セル	R032	コンクリート: 55 cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	危険物 第四類	無し	無し 【開口部を遮断体により閉止し、構造的に侵入不可】	無し 【(表面計は保護管に覆われるとともに、配線シース内に納めているため発火源と見なされない)】	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	廃液ガス消火設備 (自動、手動) 水噴霧消火設備 (手動)	同上	
	LW-3	スラッジ	放射性物質を含むスラッジ	-	機器内に貯蔵	スラッジ貯槽	332V10, V11	金属: 12mm以上	スラッジ貯蔵セル	R030	コンクリート: 52 cm以上	機器	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	同上
第二スラッジ貯蔵場	LW2-01	スラッジ	放射性物質を含むスラッジ	-	機器内に貯蔵	スラッジ貯槽 (ライニング貯槽)	332V20	-	スラッジ貯蔵セル	R001	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	同上
	LW2-02	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム溶液	-	機器内に貯蔵	濃縮液貯槽 (ライニング貯槽)	332V21	-	濃縮液貯蔵セル	R002	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	同上
廃液貯蔵場	WS-01	廃液	放射性物質を含むTBPドデカン	最大 19919 ℓ	機器内に貯蔵	廃液貯蔵槽	333V20	ステンレス鋼: 8mm以上	廃液貯蔵セル	R020	コンクリート: 45 cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	危険物 第四類	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	廃液ガス消火設備 (自動、手動) 水噴霧消火設備 (手動)	防護対象から火災が発生した場合、温度記録上層緊急操作装置により作業員が常駐する制御室で感知するとともに自動で廃液貯蔵セルに消火を行うことから、有意な放射性物質の放出に達することはない。なお、手動により追加の廃液ガスを供給でき、更に手動により水噴霧消火設備を起動して貯槽の冷却を行える。	
	WS-02	廃液	放射性物質を含むTBPドデカン	最大 19919 ℓ	機器内に貯蔵	廃液貯蔵槽	333V21	ステンレス鋼: 8mm以上	廃液貯蔵セル	R021	コンクリート: 45 cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	危険物 第四類	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	廃液ガス消火設備 (自動、手動) 水噴霧消火設備 (手動)	同上	
	WS-3	廃液	放射性物質を含むTBPドデカン	最大 19919 ℓ	機器内に貯蔵	廃液貯蔵槽	333V22	ステンレス鋼: 8mm以上	廃液貯蔵セル	R022	コンクリート: 45 cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	危険物 第四類	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	廃液ガス消火設備 (自動、手動) 水噴霧消火設備 (手動)	同上	
	WS-04	廃液	放射性物質を含むTBPドデカン	最大 19919 ℓ	機器内に貯蔵	廃液貯蔵槽	333V23	ステンレス鋼: 8mm以上	廃液貯蔵セル	R023	コンクリート: 45 cm以上 (床ステンレス仕上げ)	機器	危険物 第四類	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上層緊急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	廃液ガス消火設備 (自動、手動) 水噴霧消火設備 (手動)	同上	
低放射性濃縮廃液貯蔵施設	LWSF-01	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	濃縮液貯槽 (ライニング貯槽)	S21V30	-	第1濃縮廃液貯蔵セル	R001	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はなかったため、有意な放射性物質の放出に達することはない。以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	LWSF-02	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液 (S21V10, V11) 放射性物質を含む硝酸水溶液 (S21V20)	-	機器内に貯蔵	低放射性濃縮廃液貯槽	S21V10, V11, V20	ステンレス鋼: 12mm以上	第2濃縮廃液貯蔵セル	R002	コンクリート (床ステンレス仕上げ)	機器	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	分布型感知器	分布型感知器	連続放水設備 (手動)	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はなかったため、有意な放射性物質の放出に達することはない。	
	LWSF-3	リン酸廃液	放射性物質を含むリン酸廃液	-	機器内に貯蔵	廃液貯槽	S21V40	ステンレス鋼: 10 mm以上	廃液貯蔵セル	R004	コンクリート (床ステンレス仕上げ)	機器	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(温度計の検出が機器内に入っているため、保護管によりおぼわっているため、発火源と見なされない)】	分布型感知器	分布型感知器	連続放水設備 (手動)	同上	
廃棄物処理場	AAF-01	低放射性廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	低放射性廃液貯槽 (ライニング貯槽)	313V10	-	低放射性廃液貯槽	R010	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はなかったため、有意な放射性物質の放出に達することはない。以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	AAF-02	低放射性廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	低放射性廃液貯槽 (ライニング貯槽)	313V11	-	低放射性廃液貯槽	R011	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	同上
	AAF-03	低放射性廃液	放射性物質を含む硝酸水溶液	-	機器内に貯蔵	低放射性廃液貯槽 (ライニング貯槽)	314V12	-	低放射性廃液貯槽	R012	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	同上
	AAF-04	低放射性廃液	放射性物質を含む硝酸水溶液	-	機器内に貯蔵	低放射性廃液貯槽 (ライニング貯槽)	314V 3	-	低放射性廃液貯槽	R013	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	同上
	AAF-05	低放射性廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	低放射性廃液貯槽 (ライニング貯槽)	314V14	-	低放射性廃液貯槽	R014	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	同上
	AAF-06	低放射性廃液	放射性物質を含む硝酸水溶液	-	機器内に貯蔵	放出廃液貯槽 (ライニング貯槽)	316V10	-	放出廃液貯槽	R015	コンクリート (鋼板、ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	同上
	AAF-07	低放射性廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	放出廃液貯槽 (ライニング貯槽)	316V11	-	放出廃液貯槽	R016	コンクリート (鋼板、ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	同上
	AAF-08	低放射性廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	放出廃液貯槽 (ライニング貯槽)	316V12	-	放出廃液貯槽	R017	コンクリート (鋼板、ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し	同上
	AAF-09	低放射性廃液	放射性物質を含む硝酸水溶液 312V10、V12) 放射性物質を含む水溶液 312V11)	硝酸濃度約17%以下 機器最大容量 85m ³ 312V10,312V12の合計)	機器内に貯蔵	中間受槽	312V10~V12	ステンレス鋼: 6mm以上	放射性配管分岐室	R018	コンクリート	機器	無し 【(消防法上の危険物に該当しない)】	無し 【(硝酸濃度 70%未満)】	無し	無し 【(遮断体により開口部を閉止しているため、構造的に侵入不可)】	無し 【(バージ式の計装を使用しているため、発火源と見なされない)】	無し	無し	無し	無し

表4 セル内に設置する防護対象設備等(防護対象及び可燃物)に対する火災防護対策の類型化

施設	No.	防護対象				防護対象を貯蔵する機器等			防護対象を設置するセル等			用い込む境界	①防護対象の消防法上の取り扱い			②セル内の防護対象以外の発火源の有無			火災感知の方法	消火方法 【初期消火に要する時間】	火災時の影響評価
		対象	性状等	危険物・可燃物場合はその濃度、量など	貯蔵状態	機器名	機器番号	機器の構成材料	部屋名	部屋番号	部屋の構成材料		危険物・可燃物	人の立入り	計装・電気機器等						
廃棄物処理場	AAF-10	廃液罐	放射性物質を含むTBPドデカン	最大 19100 ℓ	機器内に貯蔵	廃液貯蔵槽	318V10	ステンレス製: 8mm以上	廃液貯蔵セル	R022	コンクリート (床鋼板仕上げ)	機器	危険物 第四類	無し	無し (遮容器により開口部を閉じているため、構造的に侵入不可)	有り 計装	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 水噴霧消火設備 (手動)	防護対象から火災が発生した場合、温度記録上異常急操作装置により作業員が発する制御室で感知すると同時に自動で放射状廃液貯蔵セルに消火を行い、廃液罐内の発火源から火災が発生した場合、温度警報装置により作業員が発する制御室で感知すると同時に手動で水噴霧消火設備による消火を行うことから、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 なお、手動により追加の放射状廃液貯蔵セルを供給でき、更に手動により水噴霧消火設備を起動して貯蔵の冷却を行える。		
	AAF-11	廃液罐	放射性物質を含むTBPドデカン	最大 19100 ℓ	機器内に貯蔵	廃液罐・廃液貯蔵槽	318V11	ステンレス製: 8mm以上	廃液貯蔵セル	R023	コンクリート (床鋼板仕上げ)	機器	危険物 第四類	無し	無し (遮容器により開口部を閉じているため、構造的に侵入不可)	有り 計装	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 水噴霧消火設備 (手動)	同上		
	AAF-12	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む硝酸水溶液	-	機器内に貯蔵	低放射性濃縮廃液貯蔵槽	331V10	ステンレス製: 8mm以上	低放射性濃縮廃液貯蔵セル	R050	コンクリート	機器	無し	無し	無し (遮容器により開口部を閉じているため、構造的に侵入不可)	無し	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。		
	AAF-13	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	低放射性濃縮廃液貯蔵槽	331V11	ステンレス製: 8mm以上	低放射性濃縮廃液貯蔵セル	R051	コンクリート	機器	無し	無し	無し (遮容器により開口部を閉じているため、構造的に侵入不可)	無し	無し	無し	防護対象から火災が発生した場合、温度記録上異常急操作装置により作業員が発する制御室で感知すると同時に自動で放射状廃液貯蔵セルに消火を行い、廃液罐内の発火源から火災が発生した場合、温度警報装置により作業員が発する制御室で感知すると同時に手動で水噴霧消火設備による消火を行うことから、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 なお、手動により追加の放射状廃液貯蔵セルを供給でき、更に手動により水噴霧消火設備を起動して貯蔵の冷却を行える。		
	AAF-14	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む硝酸水溶液	-	機器内に貯蔵	低放射性濃縮廃液貯蔵槽	331V12	ステンレス製: 8mm以上	低放射性濃縮廃液貯蔵セル	R052	コンクリート	機器	無し	無し	無し (遮容器により開口部を閉じているため、構造的に侵入不可)	無し	無し	無し	同上		
第二低放射性廃液高発熱処理施設	E-01	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	-	機器内に貯蔵	低放射性廃液第二蒸発缶	322E12, V11	ステンレス製: 9mm以上	蒸発缶セル	R-1	コンクリート: 30cm以上	機器	無し	無し	無し (温度計の検出端が機器内に入っているが、保護管に囲われているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	同上		
第三低放射性廃液高発熱処理施設	Z-01	低放射性廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	廃液受入貯槽 (ライニング貯槽)	326V01	-	廃液受入貯槽	R001	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し (遮容器により開口部を閉じているため、構造的に侵入不可)	無し	無し	無し	無し	同上	
	Z-02	低放射性廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	廃液受入貯槽 (ライニング貯槽)	326V02	-	廃液受入貯槽	R002	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し (遮容器により開口部を閉じているため、構造的に侵入不可)	無し	無し	無し	無し	同上	
	Z-03	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	濃縮液貯槽 (ライニング貯槽)	326V50A	-	濃縮液貯槽	R020A	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し (温度計の検出端が機器内に入っているが、保護管に囲われているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	同上	
	Z-04	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	濃縮液貯槽 (ライニング貯槽)	326V50B	-	濃縮液貯槽	R02 B	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し (温度計の検出端が機器内に入っているが、保護管に囲われているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	同上	
	Z-05	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	濃縮液貯槽 (ライニング貯槽)	326V51A	-	濃縮液貯槽	R021A	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し (温度計の検出端が機器内に入っているが、保護管に囲われているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	同上	
	Z-06	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	濃縮液貯槽 (ライニング貯槽)	326V51B	-	濃縮液貯槽	R02 B	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し (温度計の検出端が機器内に入っているが、保護管に囲われているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	同上	
	Z-07	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	-	機器内に貯蔵	ドレン受槽 (ライニング貯槽)	326V70	-	ドレン受槽	R006	コンクリート (ステンレス仕上げ)	セル	無し	無し	無し (遮容器により開口部を閉じているため、構造的に侵入不可)	無し	無し	無し	無し	同上	
	Z-16	低放射性廃液	放射性物質を含む水酸化ナトリウム水溶液	-	機器内に貯蔵	低放射性廃液第三蒸発缶	326E10, V11	ステンレス製: 8 mm以上	蒸発缶セル	R120	コンクリート: 40 cm以上 (ステンレス仕上げ)	機器	無し	無し	無し (温度計の検出端が機器内に入っているが、保護管に囲われているため、発火源とならない)	温度警報装置 (TA+)	無し	無し	無し	同上	
放出濃度分離施設	ST-01	廃液罐	放射性物質を含むTBPドデカン	最大 19990 ℓ	機器内に貯蔵	受入貯槽	328V10, V11	ステンレス製: 8mm以上	廃液受入セル	R006	コンクリート: 60cm以上	機器	危険物 第四類	無し	無し (セル壁を遮断管理しているため、侵入不可)	無し (パージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 水噴霧消火設備 (手動)	防護対象から火災が発生した場合、温度記録上異常急操作装置により作業員が発する制御室で感知すると同時に自動で放射状廃液貯蔵セルに消火を行い、廃液罐内の発火源から火災が発生した場合、温度警報装置により作業員が発する制御室で感知すると同時に手動で水噴霧消火設備による消火を行うことから、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 なお、手動により追加の放射状廃液貯蔵セルを供給でき、更に手動により水噴霧消火設備を起動して貯蔵の冷却を行える。		
廃液罐処理技術開発施設	ST-02	廃液罐	放射性物質を含むTBPドデカン	各機器最大容量 1000 ℓ	機器内に貯蔵	洗浄槽 希釈貯蔵槽 希釈洗浄槽	328V20 328V24 328V47	ステンレス製: 8mm以上	廃液罐洗浄セル	R001	コンクリート: 60cm以上	機器	少量危険物 第四類	無し	無し (セル壁を遮断管理しているため、侵入不可)	無し (パージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 水噴霧消火設備 (手動)	同上		
	ST-03	廃液罐	放射性物質を含むTBPドデカン	各機器最大容量 1000 ℓ	機器内に貯蔵	第1抽出槽 第2抽出槽 第3抽出槽	328V21 328V22 328V23	ステンレス製: 8mm以上	希釈分離セル	R002	コンクリート: 60cm以上	機器	少量危険物 第四類	無し	無し (セル壁を遮断管理しているため、侵入不可)	無し (パージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 水噴霧消火設備 (手動)	同上		
	ST-04	廃液罐	放射性物質を含むドデカン	機器最大容量 1000 ℓ	機器内に貯蔵	廃液洗浄槽	328V40	ステンレス製: 8mm以上	廃液中和セル	R003	コンクリート: 60cm以上	機器	少量危険物 第四類	無し	無し (セル壁を遮断管理しているため、侵入不可)	無し (パージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 水噴霧消火設備 (手動)	同上		
	ST-05	廃液罐	放射性物質を含むTPB	機器最大容量 19960 ℓ	機器内に貯蔵	TBP貯槽	328V31	ステンレス製: 10mm以上	TBP貯蔵セル	R005	コンクリート: 60cm以上	機器	危険物 第四類	無し	無し (セル壁を遮断管理しているため、侵入不可)	無し (パージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 水噴霧消火設備 (手動)	同上		
	ST-06	廃液罐	放射性物質を含むドデカン	機器最大容量 19960 ℓ	機器内に貯蔵	廃シリカゲル貯槽	328V32	ステンレス製: 10mm以上	廃シリカゲル貯蔵セル	R007	コンクリート: 40cm以上	機器	危険物 第四類	無し	無し (セル壁を遮断管理しているため、侵入不可)	無し (パージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 温度警報装置 (DT)	温度記録上異常急操作装置 (TRP+) 水噴霧消火設備 (手動)	同上		
	焼却施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表4 セル内に設置する防護対象設備等(防護対象及び可燃物)に対する火災防護対策の類型化

施設	No.	防護対象				防護対象を貯蔵する機器等				防護対象を設置するセル等				閉じ込め境界	①防護対象の 消防法上の取り扱い	②セル内の防護対象以外の発火源の有無			火災感知の方法	消火方法 【初期消火に要する 時間】	火災時の影響評価		
		対象	性状等	危険物・可燃物場合は その濃度、量など	貯蔵状態	機器名	機器番号	機器の構成材料	部屋名	部屋番号	部屋の構成材料	危険物・可燃物	人の立入り			計装・電気機器等							
アスファルト舗装 高圧施設	ASP-01	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む水溶液	-	機器内に貯蔵	廃液受入貯槽	A12V21	ステンレス鋼: 10mm以上	廃液受入貯蔵セル	R051	コンクリート (鉄ステンレス仕上げ)	機器	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。	
	ASP-02	低放射性濃縮廃液	放射性物質を含む水溶液	-	機器内に貯蔵	廃液受入貯槽	A12V20	ステンレス鋼: 8mm以上	廃液受入貯蔵セル	R052	コンクリート: 25cm以上 (鉄ステンレス仕上げ)	機器	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	防護対象及び同セル内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
分析所	CB-01	分析廃液	放射性物質を含む稀酸水溶液	-	機器内に貯蔵	中間貯槽※1	108V10、V11	ステンレス鋼: 4.5 mm以上	廃液貯蔵セル	R027	コンクリート	機器	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上
	CB-02	分析廃液	放射性物質を含む稀酸水溶液	-	機器内に貯蔵	中間貯槽	108V20、V21	ステンレス鋼: 3.5 mm以上	廃液貯蔵セル	R026	コンクリート	機器	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上
	CB-3	分析廃液	放射性物質を含む稀酸水溶液	-	機器内に貯蔵	中間貯槽	108V30、V31	ステンレス鋼: 3.5 mm以上	廃液貯蔵セル	R025	コンクリート	機器	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上

表5 セル外に設置する防護対象に対する火災防護対策の類型化

施設	防護対象				防護対象を貯蔵する機器等			防護対象を設置する部屋			閉じ込め境界	防護対象の消防上の取り扱い	部屋内の防護対象以外の発火の有無			火災感知器の有無	消火設備【初期消火に要する時間】			火災時の影響評価	
	No.	防護対象	防護対象の性状	防護対象が危険物の場合その濃度、量	貯蔵状態	機器名	機器番号	機器の構成材料	部屋名	部屋番号			部屋の構成材料	危険物・可燃物	人の立ち入り		計装・電気機器	消火器	屋内消火栓		その他
分離精製工場	MP-16	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度が17%以下 液量 3000 L	機器内に貯蔵	中間貯槽	263V10	ステンレス鋼 5mm以上	ウラン濃縮級貯室	A022	コンクリート・15cm	機器	無し (硝酸濃度が70%未満であり消防上の危険物に該当しない。)	無し	有り	有り (照明等)	有り (隣接する部屋に設置)	有り 【10分以内】	有り	無し	防護対象から発火することはない。同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が着鞋する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に消火器を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。
	MP-41	洗浄液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度が17%以下 液量 9000 L	機器内に貯蔵	一時貯槽	263V55～V57	ステンレス鋼 6mm以上	分岐室	A147	コンクリート	機器	無し (硝酸濃度が70%未満であり消防上の危険物に該当しない。)	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	無し	同上
	MP-61	三酸化ウラン粉末	放射性物質を含む粉体	—	機器内に貯蔵	三酸化ウラン粉末	—	FRP	ウラン濃縮級貯室	A322	コンクリート・15cm	部屋	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【20分以内】	有り	無し	防護対象から発火することはない。同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が着鞋する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に消火器を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。
	MP-69	ヨウ素フィルタ (AgX、活性炭)	放射性物質を含む固体	—	機器内に貯蔵	容器	—	ステンレス鋼 4mm以上	排気フィルタ室	A464	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	無し	防護対象から発火することはない。同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が着鞋する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に消火器を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。
	MP-75	ウラン溶液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度が17%以下 機器最大容量 約500 L	機器内に貯蔵	受流槽	201V75	FRP	ウラン試薬調整室	G544	コンクリート・15cm	機器	無し (硝酸濃度が70%未満であり消防上の危険物に該当しない。)	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	無し	同上
	MP-76	ウラン溶液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度が17%以下 機器最大容量 約4000 L	機器内に貯蔵	貯槽	201V77～V79	ステンレス鋼 6mm以上	ウラン試薬調整室	G644	コンクリート	機器	無し (硝酸濃度が70%未満であり消防上の危険物に該当しない。)	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	無し	同上
ウラン脱硝施設	DN-01	ウラン溶液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度が17%以下 機器最大容量 約30000 L	機器内に貯蔵	UNH貯槽	263V32	ステンレス鋼 12mm以上	UNH貯蔵室	A012	コンクリート	機器	無し (硝酸濃度が70%未満であり消防上の危険物に該当しない。)	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	無し	同上
	DN-02	ウラン溶液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度が17%以下 機器最大容量 約30000 L	機器内に貯蔵	UNH貯槽	263V33	ステンレス鋼 12mm以上	UNH貯蔵室	A014	コンクリート	機器	無し (硝酸濃度が70%未満であり消防上の危険物に該当しない。)	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	無し	同上
プルトニウム転換 技術開発施設	PCDF-01	ウラン溶液	放射性物質を含む硝酸水溶液	硝酸濃度が17%以下 機器最大容量 約1000 L	機器内に貯蔵	硝酸ウラニウム貯槽	P11V14	ステンレス鋼 10 mm以上	受入室	A027	コンクリート	機器	無し (硝酸濃度が70%未満であり消防上の危険物に該当しない。)	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【25分以内】	有り	無し	同上
	PCDF-05	MOX粉末	放射性物質を含む粉体	—	機器内に貯蔵	粉末貯蔵容器	—	ステンレス鋼 5 mm以上	粉末貯蔵室	A025	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【25分以内】	有り	無し	同上
	PCDF-18	中和沈殿焙焼体	放射性物質を含む粉体	—	機器内に貯蔵	中和沈殿焙焼体GB	P7 B04	ステンレス鋼 アクリル	廃液一次処理室	A129	コンクリート	部屋	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【25分以内】	有り	無し	同上
	PCDF-20	凝集沈殿焙焼体	放射性物質を含む粉体	—	機器内に貯蔵	保管槽	—	金属:1 mm	固体廃棄物貯場	A123	コンクリート	部屋	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【25分以内】	有り	無し	防護対象から発火することはない。同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が着鞋する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に消火器を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。
クリプトン回収 技術開発施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ウラン貯蔵所	U03-01	ウラン製品 (三酸化ウラン粉末)	放射性物質を含む粉体	—	機器内に貯蔵	容器	—	ステンレス鋼 3mm以上	貯蔵室	—	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【20分以内】	無し	無し	防護対象から発火することはない。同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が着鞋する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に消火器を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。
	2U03-01	ウラン製品 (三酸化ウラン粉末)	放射性物質を含む粉体	—	機器内に貯蔵	容器	—	ステンレス鋼 4mm以上	貯蔵室	A103	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【20分以内】	有り	無し	同上
	3U03-01	ウラン製品 (三酸化ウラン粉末)	放射性物質を含む粉体	—	機器内に貯蔵	容器	—	ステンレス鋼 4mm以上	貯蔵室	A113	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【20分以内】	有り	無し	同上
高放射性 固体廃棄物貯蔵庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
第二高放射性 固体廃棄物貯蔵施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アスファルト固化体 貯蔵施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第二アスファルト固化体 貯蔵施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第一低放射性 固体廃棄物貯蔵場	1LASWS-01	雑固体廃棄物	放射性物質を含む固体(金属)	—	機器内に貯蔵	容器	—	金属:1.2mm	貯蔵室	A001	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	無し	無し	無し	無し	防護対象及び収納する容器は、金属で構成されており、同部屋内の発火源から延焼することもないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。
	1LASWS-02	雑固体廃棄物	放射性物質を含む固体(金属)	—	機器内に貯蔵	容器	—	金属:1.2mm	貯蔵室	A101	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	無し	無し	無し	無し	同上
	1LASWS-04	雑固体廃棄物	放射性物質を含む固体(金属)	—	機器内に貯蔵	容器	—	金属:1.2mm	貯蔵室	A201	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	無し	無し	無し	無し	同上
	1LASWS-05	雑固体廃棄物	放射性物質を含む固体(金属)	—	機器内に貯蔵	容器	—	金属:1.2mm	貯蔵室	G301	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	無し	無し	無し	無し	同上
	1LASWS-06	雑固体廃棄物	放射性物質を含む固体(金属)	—	機器内に貯蔵	容器	—	金属:1.2mm	貯蔵室	G401	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	無し	無し	無し	無し	同上
	1LASWS-07	雑固体廃棄物	放射性物質を含む固体(金属)	—	機器内に貯蔵	容器	—	金属:1.2mm	貯蔵室	G501	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	無し	無し	無し	無し	同上
	2LASWS-01	雑固体廃棄物	放射性物質を含む固体(金属)	—	機器内に貯蔵	容器	—	金属:1.2mm	貯蔵室	A001	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	無し	無し	無し	防護対象及び収納する容器は、金属で構成されており、同部屋内の発火源から延焼することもないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。 以上のことから、消火設備がなくとも問題ない。
第二低放射性 固体廃棄物貯蔵場	2LASWS-04	雑固体廃棄物	放射性物質を含む固体(金属)	—	機器内に貯蔵	容器	—	金属:2.3mm	貯蔵室	A101	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	無し	無し	無し	同上
	2LASWS-05	雑固体廃棄物	放射性物質を含む固体(金属)	—	機器内に貯蔵	容器	—	金属:2.3mm	貯蔵室	G201	コンクリート	機器	無し	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り 【20分以内】	無し	無し	防護対象及び収納する容器は、金属で構成されており、同部屋内の発火源から延焼することもないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。
スラッジ貯蔵場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表5 セル外に設置する防護対象に対する火災防護対策の類型化

施設	防護対象				防護対象を貯蔵する機器等			防護対象を設置する部屋			閉じ込め境界	防護対象の消防上の取り扱い	部屋内の防護対象以外の発火の有無			火災感知器の有無	消火設備【初期消火に要する時間】			火災時の影響評価		
	No.	防護対象	防護対象の性状	防護対象が危険物の場合その濃度、量	貯蔵状態	機器名	機器番号	機器の構成材料	部屋名	部屋番号			部屋の構成材料	危険物・可燃物	人の立ち入り		計装・電機機器	消火器	屋内消火栓		その他	
第二スラッジ貯蔵場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
廃液貯蔵場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
低放射性濃縮廃液貯蔵施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
廃棄物処理場	AAF-26	ヨウ素フィルタ(A&K、活性炭)	放射性物質を含む固体	—	機器内に貯蔵	容器	—	ステンレス鋼 4mm以上	排気フィルタ室	A102	コンクリート	機器	無し	無し	有り (照明等)	有り	有り 【20分以内】	無し	無し	無し	防護対象から発火することなく、同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に消火器を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
第三低放射性廃液高濃処理施設	Z-08	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	—	機器内に貯蔵	組紐整槽 (ライニング貯槽)	327V60	—	組紐整槽	A003	コンクリート	部屋	無し (ライニング貯槽の開口部を鋼板により閉じている)	無し (バージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	防護対象は水中に貯蔵しており、同部屋内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。	
	Z-09	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	—	機器内に貯蔵	中和反応槽	327V61	ステンレス鋼 8mm以上	中和処理室	A004	コンクリート	機器	無し	無し	有り (照明、ポンプ)	有り	有り 【5分以内】	有り	無し	無し	無し	防護対象から発火することなく、同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に消火器を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。
放出廃液油分除去施設	Z-10	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	—	機器内に貯蔵	中間貯槽	327V62	ステンレス鋼 8mm以上	中和処理室	A004	コンクリート	機器	無し	無し	有り (照明、ポンプ)	有り	有り 【5分以内】	有り	無し	無し	同上	
	C-01	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	—	機器内に貯蔵	廃液受入貯槽 (ライニング貯槽)	350V10	—	廃液受入貯槽	A001	コンクリート	部屋	無し (開口部を遮蔽体により閉止し、構造的に侵入不可)	無し (バージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	防護対象は水中に貯蔵しており、同部屋内に発火源となるものはなく、火災の可能性はないため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。以上のことから、火災感知設備及び消火設備がなくとも問題ない。	
	C-02	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	—	機器内に貯蔵	廃液受入貯槽 (ライニング貯槽)	350V11	—	廃液受入貯槽	A002	コンクリート	部屋	無し (開口部を遮蔽体により閉止し、構造的に侵入不可)	無し (バージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上	
	C-03	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	—	機器内に貯蔵	廃液受入貯槽 (ライニング貯槽)	350V12	—	廃液受入貯槽	A003	コンクリート	部屋	無し (開口部を遮蔽体により閉止し、構造的に侵入不可)	無し (バージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上	
	C-04	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	—	機器内に貯蔵	放出廃液貯槽 (ライニング貯槽)	350V20	—	放出廃液貯槽	A004	コンクリート	部屋	無し (開口部を遮蔽体により閉止し、構造的に侵入不可)	無し (バージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上	
	C-05	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	—	機器内に貯蔵	放出廃液貯槽 (ライニング貯槽)	350V21	—	放出廃液貯槽	A005	コンクリート	部屋	無し (開口部を遮蔽体により閉止し、構造的に侵入不可)	無し (バージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上	
	C-06	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	—	機器内に貯蔵	放出廃液貯槽 (ライニング貯槽)	350V22	—	放出廃液貯槽	A006	コンクリート	部屋	無し (開口部を遮蔽体により閉止し、構造的に侵入不可)	無し (バージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上	
	C-07	低放射性廃液	放射性物質を含む水溶液	—	機器内に貯蔵	放出廃液貯槽 (ライニング貯槽)	350V23	—	放出廃液貯槽	A007	コンクリート	部屋	無し (開口部を遮蔽体により閉止し、構造的に侵入不可)	無し (バージ式の計装を使用しているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上	
	C-08	廃活性炭	放射性物質を含む固体	—	機器内に貯蔵	廃炭貯槽 (ライニング貯槽)	350V31	—	廃炭貯槽	A008	コンクリート	部屋	無し (開口部を遮蔽体により閉止し、構造的に侵入不可)	無し (超音波式の液面計、フロー式の界面計を使用しているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上	
	C-09	スラッジ	放射性物質を含む固体	—	機器内に貯蔵	スラッジ貯槽 (ライニング貯槽)	350V32	—	スラッジ貯槽	A009	コンクリート	部屋	無し (開口部を遮蔽体により閉止し、構造的に侵入不可)	無し (超音波式の液面計、フロー式の界面計を使用しているため、発火源とならない)	無し	無し	無し	無し	無し	無し	同上	
廃液処理技術開発施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
焼却施設	IF-01	低放射性固体廃棄物(可燃)仕掛品(保管場所)	放射性物質を含む固体	—	—	一時貯蔵ラック	342M151,M152	—	カートン貯蔵室	A001	コンクリート	部屋	無し	無し	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	水噴霧消火設備(手動)	無し	防護対象又は同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に水噴霧消火設備等を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。	
	IF-03	回収ドデカン	放射性物質を含むドデカン	液量 2200 L	機器内に貯蔵	回収ドデカン貯槽	342V21	ステンレス鋼 6mm以上	オフガス処理室	A005	コンクリート	機器	危険物 第四類	無し	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	炭酸ガス消火設備(手動) 水噴霧消火設備(手動)	無し	防護対象から発火することなく、同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に炭酸ガス消火設備等を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。	
	IF-05	低放射性固体廃棄物(可燃)仕掛品(保管場所)	放射性物質を含む固体	—	—	金属製箱(不燃シート養生)	—	—	オフガス処理室	A005	コンクリート	部屋	無し	無し	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	水噴霧消火設備(手動)	無し	防護対象又は同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に水噴霧消火設備等を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。	
	IF-06	低放射性固体廃棄物(可燃)仕掛品(保管場所)	放射性物質を含む粉体	—	—	ドラム缶 不燃シート養生	—	壁厚:1.2mm以上	焼却ドラム保管室	A006	コンクリート	40cm	部屋	無し	無し	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	水噴霧消火設備(手動)	無し	同上
	IF-08	低放射性固体廃棄物(可燃)仕掛品(保管場所)	放射性物質を含む固体	—	—	金属製箱(不燃シート養生)	—	—	予備室	A102	コンクリート	部屋	無し	無し	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	無し	無し	同上	
IF-14	廃活性炭スラリー	放射性物質を含む懸濁液(回収ドデカン、オクタル酸、ケロンを含む)	液量 690 L	機器内に貯蔵	廃活性炭供給槽	342V25	ステンレス鋼 6mm以上	廃活性炭供給室	A308	コンクリート	20cm	機器	危険物 第四類	無し	有り (照明等)	有り	有り 【10分以内】	有り	炭酸ガス消火設備(手動) 水噴霧消火設備(手動)	無し	防護対象から発火することなく、同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に炭酸ガス消火設備等を用いて消火を行う。放射性物質は機器内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。	
アスファルト固化処理施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
分析所	CB-18	分析試料	放射性物質を含む液体・固体	—	機器内に貯蔵	分析試料	Q.B II-1	アクリル ステンレス鋼	低放射性分析室	Q116	コンクリート	15cm	部屋	無し (グローブボックス等)	有り (照明等)	有り	有り 【30分以内】	無し	無し	無し	無し	防護対象から、発火することなく、同部屋内から発火した場合、火災感知器により作業員が常駐する制御室で感知可能であり、直ちに作業員が駆けつけ、機器の耐火時間以内に炭酸ガス消火設備等を用いて消火を行う。放射性物質は部屋内で閉じ込められるため、有意な放射性物質の放出に至ることはない。

表5 セル外に設置する防護対象に対する火災防護対策の類型化

施設	防護対象				防護対象を貯蔵する機器等			防護対象を設置する部屋			閉じ込め境界	防護対象の 消防法上の取り扱い	部屋内の防護対象以外の発火源の有無			火災感知器 の有無	消火設備【初期消火に要する時間】			火災時の影響評価
	No.	防護対象	防護対象の 性状	防護対象が危険物の場合 その濃度 量	貯蔵状態	機器名	機器番号	機器の 構成材料	部屋名	部屋番号			部屋の構成材料	危険物・可燃物	人の 立ち入り		計装・電気機器	消火器	屋内消火栓	
分析所	CB-20	分析試料	放射性物質を含む 液体・固体	—	機器内に貯蔵	分析試料	GB I-1	アクリル ステンレス鋼	低放射性分析室	G115	コンクリート・15cm	部屋	無し	有り (グローブボックス等)	有り (照明等)	有り	有り 【30分以内】	有り	無し	同上
	CB-21	分析試料	放射性物質を含む 液体・固体	—	機器内に貯蔵	分析試料	GB I-3	アクリル ステンレス鋼	低放射性分析室	G115	コンクリート・15cm	部屋	無し	有り (グローブボックス等)	有り (照明等)	有り	有り 【30分以内】	有り	GB内の消火用バルブ(手動)	防護対象から、発火することなく、同部屋内から発火した場合、 火災感知器により作業員が検知する制御室で感知可能であり、 直ちに作業員が駆けつけ、部屋の耐火時間以内に消火器等を用 いて消火を行う。放射性物質は部屋内で閉じ込められるため、有 意な放射性物質の放出に至ることはない。
	CB-22	分析試料	放射性物質を含む 液体・固体	—	機器内に貯蔵	分析試料	GB I-4	アクリル ステンレス鋼	低放射性分析室	G115	コンクリート・15cm	部屋	無し	有り (グローブボックス等)	有り (照明等)	有り	有り 【30分以内】	有り	GB内の消火用バルブ(手動)	同上
	CB-23	分析試料	放射性物質を含む 液体・固体	—	機器内に貯蔵	分析試料	GB II-3	アクリル ステンレス鋼	低放射性分析室	G115	コンクリート・15cm	部屋	無し	有り (グローブボックス等)	有り (照明等)	有り	有り 【30分以内】	有り	GB内の消火用バルブ(手動)	同上
	CB-24	分析試料	放射性物質を含む 液体・固体	—	機器内に貯蔵	分析試料	GB II-5	アクリル ステンレス鋼	低放射性分析室	G115	コンクリート・15cm	部屋	無し	有り (グローブボックス等)	有り (照明等)	有り	有り 【30分以内】	有り	無し	防護対象から、発火することなく、同部屋内から発火した場合、 火災感知器により作業員が検知する制御室で感知可能であり、 直ちに作業員が駆けつけ、部屋の耐火時間以内に消火器等を用 いて消火を行う。放射性物質は部屋内で閉じ込められるため、有 意な放射性物質の放出に至ることはない。
	CB-29	分析試料	放射性物質を含む 液体・固体	—	機器内に貯蔵	分析試料	GB No.4	アクリル ステンレス鋼	機器分析準備室	G124	コンクリート・15cm	部屋	無し	有り (グローブボックス等)	有り (照明等)	有り	有り 【30分以内】	有り	GB内の消火用バルブ(手動)	同上
	CB 30	分析試料	放射性物質を含む 液体・固体	—	機器内に貯蔵	分析試料	GB No.5	アクリル ステンレス鋼	機器分析準備室	G124	コンクリート・15cm	部屋	無し	有り (グローブボックス等)	有り (照明等)	有り	有り 【30分以内】	有り	GB内の消火用バルブ(手動)	同上
	CB 31	分析試料	放射性物質を含む 液体・固体	—	機器内に貯蔵	分析試料	GB No.7	アクリル ステンレス鋼	機器分析準備室	G124	コンクリート・15cm	部屋	無し	有り (グローブボックス等)	有り (照明等)	有り	有り 【30分以内】	有り	無し	同上
	CB 36	標準物質 置場)	放射性物質を含む 固体	—	機器内に貯蔵	保管箱	—	金属 1mm	ガラス組工室	Q014	コンクリート・15cm	部屋	無し	無し	有り (照明等)	有り	有り 【30分以内】	有り	無し	同上

表6 セル外に設置する廃棄物の仕掛品, 危険物, 少量危険物, 指定可燃物及び第四類少量未満危険物に対する火災防護対策の類型化

施設	仕掛品等				仕掛品等を設置している部屋		同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無			火災感知器の有無	消火設備			初期消火に要する時間 (施設毎の最大値を記載)	
	No.	対象	汚染の可能性	性状	保管状態	部屋名	部屋番号	周囲の可燃物の有無	人の立ち入り		電気機器等の発火源	消火器	屋内消火栓		その他
分離精製工場	MP-01	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	カス除染室	A0110	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	約20分
	MP-02	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	階段室	A0115	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-03	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A0117	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-04	少量未満危険物(危険物第四類)	無し	危険物第四類 PT剤等	金属製棚に保管	更衣室	A0117	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-05	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚に保管	濃縮ウラン溶解セルの地下	A046	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-13	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	凝縮液貯蔵室	A042	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-14	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	地下中央保守区域	A043	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-15	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	プルトニウムセル操作区域	A024	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-19	少量未満危険物	無し	危険物第四類 ギヤー油等	金属製棚に保管	トラックエアロック	W1120	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-20	少量未満危険物	有り	危険物第四類 ギヤー油等	金属製棚に保管	クレーンホール	G1124	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-21	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚に保管	クレーンホール(W1120側)	G1124	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-22	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚に保管	クレーンホール(R0102側)	G1124	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-23	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	クレーンホール(R0103-R0104間)	G1124	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-24	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚に保管	クレーンホール(R0103側)	G1124	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-25	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	クレーンホール(R0104側)	G1124	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-26	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	クレーンホール(R0108側)	G1124	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-27	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	クレーンホール	G1124	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-28	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A1161	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-29	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A155	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-30	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	予備溶解槽保守区域	A156	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-31	仕掛品(置場)(R0109側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	濃縮ウラン溶解槽装荷セル操作区域	G146	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-32	仕掛品(置場)(A045側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	濃縮ウラン溶解槽装荷セル操作区域	G146	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-33	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	不燃シートで養生し保管	機械処理セル換気ダクト室	A157	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-38	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	分岐室	A147	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-39	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	分岐室	A147	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-40	少量未満危険物	無し	危険物第四類 ギヤー油等	金属製棚に保管	分岐室	A147	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-44	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	プルトニウムセル操作区域	A124	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-45	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	プルトニウムセル操作区域	A024	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
MP-46	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	ウラン濃縮脱硝室	A122	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し		
MP-47	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	ユーティリティ室	G144	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し		
MP-48	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	ウラン濃縮脱硝室	A222	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し		

表6 セル外に設置する廃棄物の仕掛品, 危険物, 少量危険物, 指定可燃物及び第四類少量未満危険物に対する火災防護対策の類型化

施設	仕掛品等				仕掛品等を設置している部屋		同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無			火災感知器の有無	消火設備			初期消火に要する時間 (施設毎の最大値を記載)	
	No.	対象	汚染の可能性	性状	保管状態	部屋名	部屋番号	周囲の可燃物の有無	人の立ち入り		電気機器等の発火源	消火器	屋内消火栓		その他
分離精製工場	MP-49	仕掛品(置場) (A024側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	廊下	A247	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約20分
	MP-50	仕掛品(置場) (A258側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	廊下	A247	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-51	少量未満危険物	無し	危険物第四類 ギヤー油等	金属製棚に保管	廊下	A247	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-52	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	ユーティリティ室	G244	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-54	少量未満危険物	無し	危険物第四類 ギヤー油等	金属製棚に保管	倉庫	G3154	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-55	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	濃縮ウラン機械処理セル操作区域	G346	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-56	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	濃縮ウラン機械処理セル操作区域	G346	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-57	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A355	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-58	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	汚染機器調整室	A356	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-59	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	槽類換気系室	A359	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-60	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	ウラン濃縮脱硝室	A322	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-62	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	サンプリング操作室	A343	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-63	仕掛品(置場) (G349側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守区域	A348	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-64	仕掛品(置場) (A343側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守区域	A348	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-65	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	真空ポンプ室	A358	有り (資材)	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-66	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	プルトニウムセル操作区域	A024	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-67	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	分電盤室	G449	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-68	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	排気フィルタ室	A464	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-70	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	エアロック	A554	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-71	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	機械セル機器室	A568	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-72	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	伝送操作室	G565	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-73	少量未満危険物	無し	危険物第四類 洗浄剤等	金属製棚に保管	伝送操作室	G565	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-74	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	弁操作試薬調整室	G543	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-77	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	ウラン試薬調整室	G644	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-78	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製棚に保管	廊下	G650	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-79	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製棚に保管	試薬調整区域	G643	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-80	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚に保管	試薬調整区域分析室	G643	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-81	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	エアロック	A681	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-82	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	エアロック	A683	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-83	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	エアロック	A685	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
MP-84	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	エアロック	A687	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し		

表6 セル外に設置する廃棄物の仕掛品, 危険物, 少量危険物, 指定可燃物及び第四類少量未満危険物に対する火災防護対策の類型化

施設	仕掛品等					仕掛品等を設置している部屋		同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無			火災感知器の有無	消火設備			初期消火に要する時間 (施設毎の最大値を記載)
	No.	対象	汚染の可能性	性状	保管状態	部屋名	部屋番号	周囲の可燃物の有無	人の立ち入り	電気機器等の発火源		消火器	屋内消火栓	その他	
分離精製工場	MP-85	少量未満危険物	無し	危険物第四類 オイル	金属製棚に保管	ダクト通路	G677	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約20分
	MP-86	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	ダクト通路	G677	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-87	危険物	無し	危険物第四類 作動油	金属製設備に保管	モーター室	G653	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-88	危険物	有り	危険物第四類 熱媒油	金属製設備に保管	ウラン濃縮脱硝室	A122	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-89	危険物	有り	危険物第四類 熱媒油	金属製設備に保管	ウラン濃縮脱硝室	A222	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	MP-90	危険物	有り	危険物第四類 熱媒油	金属製設備に保管	ウラン濃縮脱硝室	A322	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
ウラン脱硝施設	DN-03	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚に保管	UNH受入室	A015	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約15分
	DN-04	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚に保管	廃液貯蔵室	A011	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-05	少量未満危険物	有り	危険物第四類 KSKオイル	ポリ容器に保管	廃液貯蔵室	A011	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-06	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚に保管	ユーティリティ室	G021	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-07	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	エアロック	A120	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-08	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	不燃シートで養生し保管	UO3抜入室	A111	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-09	仕掛品(置場)	無し	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	UO3抜入室	A111	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-10	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	濃縮脱硝室	A211	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-11	少量未満危険物	有り	危険物第四類 KSKオイル	保管タンク(264V404)	濃縮脱硝室	A211	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-12	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	分析室	A215	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-13	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A216	有り (衣服)	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-14	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製容器に保管	放射線管理室	G221	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	DN-15	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	オフガス処理室	A311	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	プルトニウム転換技術開発施設	PCDF-02	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	受入室	A027	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	
PCDF-03		少量未満危険物	無し	危険物第四類 シンナー等	金属製容器に保管	廊下	A022	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-04		少量未満危険物	無し	危険物第四類 エチルアルコール等	金属製容器に保管	サービスエリア	A026	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-06		仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	充てん室	A024	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-07		仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	廃水タンク室	A023	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-08		仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	廃液二次処理室	A029	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-09		少量未満危険物	無し	危険物第四類 エチルアルコール	金属製容器に保管	廃液二次処理室	A029	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-10		少量未満危険物	無し	危険物第四類 塗料等	金属製容器に保管	ユーティリティ室	W002	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-11		仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	液移送室	A127	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-12		仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	基礎実験室	A128	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-13		少量未満危険物	無し	危険物第四類 オイル等	金属製容器に保管	基礎実験室	A128	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-14		仕掛品(置場) (A126側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	主工程室	A126	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	

表6 セル外に設置する廃棄物の仕掛品, 危険物, 少量危険物, 指定可燃物及び第四類少量未満危険物に対する火災防護対策の類型化

施設	仕掛品等				仕掛品等を設置している部屋		同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無			火災感知器の有無	消火設備			初期消火に要する時間 (施設毎の最大値を記載)	
	No.	対象	汚染の可能性	性状	保管状態	部屋名	部屋番号	周囲の可燃物の有無	人の立ち入り		電気機器等の発火源	消火器	屋内消火栓		その他
プルトニウム転換技術開発施設	PCDF-15	仕掛品(置場) (A125側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	主工程室	A126	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約25分
	PCDF-16	少量未満危険物	無し	危険物第四類 エチルアルコール等	金属製容器に保管	基礎実験室	A128	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-17	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	廃液一次処理室	A129	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-19	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	固体廃棄物置場	A123	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-21	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	機器分析室	A227	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-22	少量未満危険物	無し	危険物第四類 エチルアルコール等	金属製容器に保管	機器分析室	A227	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-23	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	廃気一次処理室	A225	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-24	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	工程分析室	A230	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-25	少量未満危険物	無し	危険物第四類 エチルアルコール等	金属製容器に保管	工程分析室	A230	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-26	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	廃棄二次処理室	A231	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-27	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	機器調整室	A223	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-28	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	排気室	A323	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-29	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	排気室	A323	有り (少量未満危険物)	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-30	少量未満危険物	無し	危険物第四類 オイル等	金属製容器に保管	排気室	A323	有り (仕掛品(置場))	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-31	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	真空ポンプ室	A324	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	PCDF-32	少量未満危険物	有り	危険物第四類 オイル等	金属製容器に保管	給気室	G314	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
PCDF-33	仕掛品(置場) (北側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	放射線管理室	A423	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し		
PCDF-34	仕掛品(置場) (南側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	放射線管理室	A423	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し		
クリプトン回収技術開発施設	Kr-03	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	固定化試験操作室	A009B	有り (資材)	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約25分
	Kr-04	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守区域	A151	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	Kr-05	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	安全管理分室 (アンバー)	A202	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	Kr-06	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	排気室	A301	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	Kr-07	少量未満危険物	無し	危険物第四類 塗料等	金属製棚に保管	入気室	W302	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
ウラン貯蔵所	UO3-02	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	貯蔵室	-	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	約25分
	UO3-03	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	通路	-	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	
第二ウラン貯蔵所	2UO3-02	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	トラックヤード	A101	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約25分
第三ウラン貯蔵所	3UO3-02	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	入出庫室	A112	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約25分
高放射性固体廃棄物貯蔵庫	HASWS-11	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	階段室	A133	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	約20分
高放射性固体廃棄物貯蔵庫	HASWS-12	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	20トンクレーン室	A134	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	約20分
	HASWS-13	少量未満危険物	有り	危険物第四類 オイル等	金属製容器に保管	倉庫	A230	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	
	HASWS-14	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	クレーン室	A333	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	

表6 セル外に設置する廃棄物の仕掛品, 危険物, 少量危険物, 指定可燃物及び第四類少量未満危険物に対する火災防護対策の類型化

施設	仕掛品等				仕掛品等を設置している部屋		同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無			火災感知器の有無	消火設備			初期消火に要する時間 (施設毎の最大値を記載)	
	No.	対象	汚染の可能性	性状	保管状態	部屋名	部屋番号	周囲の可燃物の有無	人の立ち入り		電気機器等の発火源	消火器	屋内消火栓		その他
第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設	2HASWS-04	仕掛品(置場) (A103側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	クレーンホール	A102	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約30分
	2HASWS-05	仕掛品(置場) (W115側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	クレーンホール	A102	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	2HASWS-06	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	安全管理分室	A105	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	2HASWS-07	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	モニタ室	A106	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	2HASWS-08	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	モニタ室	G110	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	2HASWS-09	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	クレーンホール	A102	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	2HASWS-10	少量未満危険物	無し	危険物第四類 オイル等	金属製棚に保管	給気機械室	W201	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	2HASWS-11	少量未満危険物	有り	危険物第四類 潤滑油等	金属製棚に保管	点検通路	A301	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
アスファルト固化体貯蔵施設	AS1-03	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	階段室	A020	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約30分
	AS1-06	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製容器(不燃シート養生)に保管	トラックエアロック	W121	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS1-07	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	保守区域	A119	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS1-08	仕掛品(置場) (A118側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A117	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS1-09	仕掛品(置場) (A119側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A117	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS1-10	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	G115	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS1-11	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	排気室	A323	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
第二アスファルト固化体貯蔵施設	AS2-02	少量未満危険物	無し	危険物第四類 オイル	金属製棚に保管	ユーティリティ室	G016	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約40分
	AS2-03	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑剤等	金属製棚に保管	予備実験室	G012	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS2-04	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	G111	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS2-05	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	安全管理分室	G112	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS2-06	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A130	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS2-07	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	階段室	A040	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS2-08	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製棚に保管	保守室	A134	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS2-09	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	トラックエアロック	W100	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AS2-12	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	保守室	A232	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
第一低放射性固体廃棄物貯蔵場	1LASWS-03	危険物	無し	危険物第四類 作動油	金属製設備に保管	エレベータ機械室	W105	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	約35分
	1LASWS-08	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	貯蔵室	G501	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	1LASWS-09	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	貯蔵室	G501	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
第二低放射性固体廃棄物貯蔵場	2LASWS-02	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	受入室	G102	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	約30分
	2LASWS-03	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	貯蔵室	A101	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	

表6 セル外に設置する廃棄物の仕掛品, 危険物, 少量危険物, 指定可燃物及び第四類少量未満危険物に対する火災防護対策の類型化

施設	仕掛品等					仕掛品等を設置している部屋		同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無			火災感知器の有無	消火設備			初期消火に要する時間 (施設毎の最大値を記載)
	No.	対象	汚染の可能性	性状	保管状態	部屋名	部屋番号	周囲の可燃物の有無	人の立ち入り	電気機器等の発火源		消火器	屋内消火栓	その他	
第二低放射性固体廃棄物貯蔵場	2LASWS-06	少量危険物	無し	危険物第四類 作動油	金属製設備に保管	エレベータ機械室機械室	W203	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	約30分
スラッジ貯蔵場	LW-04	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	不燃シートで養生し保管	保守区域	A430	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	約5分
第二スラッジ貯蔵場	LW2-03	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	不燃シートで養生し保管	保守区域	A014	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	約15分
	LW2-04	少量未満危険物	無し	危険物第四類 塗料等	金属製容器に保管	トラックエアロック室	W103	有り (資材)	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	
	LW2-05	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	エアロック室	A204	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	無し	無し	
廃溶媒貯蔵場	WS-05	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	不燃シートで養生し保管	保守区域	A026	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約10分
	WS-06	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A222	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
低放射性濃縮廃液貯蔵施設	LWSF-04	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	不燃シートで養生し保管	保守室	A021	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (連結散水設備)	約25分
	LWSF-05	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守室	A021	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (連結散水設備)	
	LWSF-06	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守室	A011	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (連結散水設備)	
	LWSF-07	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A103	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	LWSF-08	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	G111	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	LWSF-09	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	槽類換気室	A202	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
廃棄物処理場	AAF-15	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	廃棄物処理場制御室	G101	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約10分
	AAF-16	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守区域	G180	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AAF-17	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	安全管理分室	A104	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AAF-18	仕掛品(保管場所)又は低放射性固体廃棄物	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	低放射性固体廃棄物カートン保管室	A142	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AAF-19	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	低放射性固体廃棄物受入処理室	A143	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (水噴霧消火設備)	
	AAF-20	仕掛品(保管場所)又は低放射性固体廃棄物(A191側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	低放射性固体廃棄物受入処理室	A143	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (水噴霧消火設備)	
	AAF-21	仕掛品(保管場所)又は低放射性固体廃棄物(A141側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	低放射性固体廃棄物受入処理室	A143	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (水噴霧消火設備)	
	AAF-22	仕掛品(保管場所)又は低放射性固体廃棄物(A141-A144間)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	低放射性固体廃棄物受入処理室	A143	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (水噴霧消火設備)	
	AAF-23	仕掛品(保管場所)又は低放射性固体廃棄物(A144側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	低放射性固体廃棄物受入処理室	A143	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (水噴霧消火設備)	
	AAF-24	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守区域	A191	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AAF-25	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器及び不燃シートで養生し保管	保守区域	A191	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AAF-27	少量未満危険物	無し	危険物第四類 塗料等	金属製容器に保管	低放射性固体廃棄物カートン保管室	A142	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AAF-28	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守区域	G280	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AAF-29	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	安全管理分室	A204	有り (カバーオール等)	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	

表6 セル外に設置する廃棄物の仕掛品, 危険物, 少量危険物, 指定可燃物及び第四類少量未満危険物に対する火災防護対策の類型化

施設	仕掛品等					仕掛品等を設置している部屋		同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無			火災感知器の有無	消火設備			初期消火に要する時間 (施設毎の最大値を記載)
	No.	対象	汚染の可能性	性状	保管状態	部屋名	部屋番号	周囲の可燃物の有無	人の立ち入り	電気機器等の発火源		消火器	屋内消火栓	その他	
廃棄物処理場	AAF-30	仕掛品(保管場所)又は低放射性固体廃棄物	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	予備室	A241	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	約10分
	AAF-31	少量未満危険物	無し	危険物第四類 染色浸透探傷剤等	金属製棚に保管	試薬調整室	G401	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AAF-32	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	安全管理分室	A404	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	AAF-33	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守及びサンプリング区域	A405	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
第二低放射性廃液蒸発処理施設	E-02	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	凝縮器室	A-2	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	約5分
第三低放射性廃液蒸発処理施設	Z-11	少量未満危険物	無し	危険物第四類 オイル等	金属製容器に保管	中和処理室	A004	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	約10分
	Z-12	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	バルブギャラリ	A013	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	Z-13	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	熱交換器室	G102	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	Z-14	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守区域	G111	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	Z-15	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	連絡通路	A108	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	Z-17	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	第2安全管理室	G204	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	Z-18	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	制御室	G321	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
放出廃液油分除去施設	C-10	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製容器に保管	配管分岐室	A011	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	約15分
	C-11	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A109	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	C-12	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	プロセスエリア	A110	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	C-13	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	エアロック	A112	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	C-14	仕掛品(置場)(西側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	分析室	G205	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	C-15	仕掛品(置場)(東側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	分析室	G205	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
廃溶媒処理技術開発施設	ST-07	少量危険物	無し	危険物第四類 ドデカン	希釈剤中間受槽(328V25)	希釈剤中間受槽室	A012	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	有り(炭酸ガス消火設備)	約5分
	ST-08	危険物	無し	危険物第四類 ドデカン	希釈剤貯槽(328V30)	希釈剤貯槽室	A013	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	有り(炭酸ガス消火設備)	
	ST-09	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守区域	A010	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	ST-10	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保守区域	A110	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	ST-11	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	保守区域	A110	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	ST-12	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	安全管理分室	A214	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	ST-13	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製容器に保管	保守区域	G102	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	ST-14	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	制御室	G201	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	ST-15	指定可燃物	無し	指定可燃物 エポキシ樹脂等	エポキシ樹脂貯槽(328V68)	試薬調整室	G210	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	
	ST-16	少量未満危険物	無し	危険物第四類 硬化剤等	硬化剤貯槽(328V69)	試薬調整室	G210	無し	有り	有り(照明等)	有り	有り	有り	無し	

表6 セル外に設置する廃棄物の仕掛品, 危険物, 少量危険物, 指定可燃物及び第四類少量未満危険物に対する火災防護対策の類型化

施設	仕掛品等					仕掛品等を設置している部屋		同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無			火災感知器の有無	消火設備			初期消火に要する時間 (施設毎の最大値を記載)
	No.	対象	汚染の可能性	性状	保管状態	部屋名	部屋番号	周囲の可燃物の有無	人の立ち入り	電気機器等の発火源		消火器	屋内消火栓	その他	
焼却施設	IF-02	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	焼却灰取出室	A003	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (水噴霧消火設備)	約10分
	IF-04	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	オフガス処理室	A005	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (水噴霧消火設備)	
	IF-07	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	予備室	A102	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	IF-09	少量未満危険物※1	無し	危険物第四類 アルコール等	金属製容器に保管	カートン投入室	A305	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	IF-10	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	カートン投入室	A305	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	IF-11	仕掛品(保管場所)又は低放射性固体廃棄物(A303側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	カートン投入室	A305	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	IF-12	仕掛品(保管場所)又は低放射性固体廃棄物(A309側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	カートン投入室	A305	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	IF-13	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A302	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	IF-15	仕掛品(保管場所)又は低放射性固体廃棄物	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	機材室	A309	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	IF-16	少量未満危険物	無し	危険物第四類 塗料等	金属製容器に保管	冷却用送風機室	A403	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	IF-17	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	排風機室	A405	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
アスファルト固化処理施設	ASP-03	指定可燃物	無し	指定可燃物 アスファルト原料	アスファルト貯槽(A21V45)	アスファルト貯蔵室	G018	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	有り (水噴霧消火設備)	約20分
	ASP-04	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	薬品貯蔵室	G113	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	ASP-05	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	更衣室	A236	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	ASP-06	少量未満危険物	有り	危険物第四類 潤滑油等	金属製棚に保管	エアロック	A314	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
分析所	CB-04	少量未満危険物	無し	危険物第四類 ネオゴーゼ等	金属製棚に保管	階段	A020	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約30分
	CB-05	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	保守区域	A021	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-06	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	排風機及びフィルタ室	A023	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-07	少量未満危険物	無し	危険物第四類 オイル等	金属製棚に保管	試験室の地下	W040	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-08	少量未満危険物	無し	危険物第四類 オイル等	金属製容器に保管	入気室	W006	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-09	仕掛品(置場)(北側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	高放射性分析室	G104	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-10	仕掛品(置場)(南側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	高放射性分析室	G104	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-11	仕掛品(置場)(東側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	高放射性分析室	G105	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-12	仕掛品(置場)(西側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	高放射性分析室	G105	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-13	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	中放射性分析室	G107	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-14	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	中放射性分析室	G108	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
CB-15	仕掛品(置場)(東側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	化学準備室	G117	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し		
CB-16	仕掛品(置場)(西側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	化学準備室	G117	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し		

表6 セル外に設置する廃棄物の仕掛品, 危険物, 少量危険物, 指定可燃物及び第四類少量未満危険物に対する火災防護対策の類型化

施設	仕掛品等					仕掛品等を設置している部屋		同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無			火災感知器の有無	消火設備			初期消火に要する時間 (施設毎の最大値を記載)
	No.	対象	汚染の可能性	性状	保管状態	部屋名	部屋番号	周囲の可燃物の有無	人の立ち入り	電気機器等の発火源		消火器	屋内消火栓	その他	
分析所	CB-17	少量未満危険物	無し	危険物第四類 メチルアルコール等	金属製容器に保管	化学準備室	G117	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約30分
	CB-19	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	低放射性分析室	G116	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-25	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	低放射性分析室	G115	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-26	仕掛品(置場) (東側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	特殊分析室	G123	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-27	仕掛品(置場) (西側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	特殊分析室	G123	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-28	少量未満危険物	無し	危険物第四類 ビリジン	金属製容器に保管	特殊分析室	G123	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-32	仕掛品(置場) (東側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	機器分析準備室	G124	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-33	仕掛品(置場) (東側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	機器分析準備室	G124	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-34	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	蛍光X線分析室	G125	有り (資材)	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-35	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	質量分析室	G129	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-37	仕掛品(保管場所) (北側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	貯蔵室	G120	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-38	仕掛品(保管場所) (南側)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	貯蔵室	G120	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-39	少量未満危険物	無し	危険物第四類 酢酸エチル等	金属製容器に保管	貯蔵室	G120	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-40	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	プルトニウム精製室	G142	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-41	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	プルトニウム精製室	G142	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-42	少量未満危険物	無し	危険物第四類 潤滑油等	金属製容器に保管	プルトニウム精製室	G142	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-43	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	試験セル操作区域	G144	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-44	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	除染室	A114	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-45	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	除染室	A114	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-46	少量未満危険物	無し	危険物第四類 アセトン等	金属製容器に保管	除染室	A114	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-47	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	金属製棚(不燃シート養生)に保管	試験セル保守区域	A146	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-48	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	試験セル保守区域	A146	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-49	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	保健・物理モニタ室	G222	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-50	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	第1洗濯室	G313	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-51	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	不燃シートで養生し保管	裁縫室(倉庫)	G315	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-52	少量未満危険物	無し	危険物第四類 エチレンアルコール等	金属製棚に保管	廊下	G316	無し	有り	有り (照明等)	有り (隣接する部屋に設置)	有り	有り	無し	
CB-53	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	事務室	G311	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し		
CB-54	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	安全管理分室	G322	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し		

表6 セル外に設置する廃棄物の仕掛品, 危険物, 少量危険物, 指定可燃物及び第四類少量未満危険物に対する火災防護対策の類型化

施設	仕掛品等					仕掛品等を設置している部屋		同部屋内の仕掛品等以外の発火源の有無			火災感知器の有無	消火設備			初期消火に要する時間 (施設毎の最大値を記載)
	No.	対象	汚染の可能性	性状	保管状態	部屋名	部屋番号	周囲の可燃物の有無	人の立ち入り	電気機器等の発火源		消火器	屋内消火栓	その他	
分析所	CB-55	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	除染室	A323	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	約30分
	CB-56	少量未満危険物	無し	危険物第四類 モノエタノールアミン等	金属製容器に保管	除染室	A323	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-57	仕掛品(保管場所)	有り	ウエス, 紙類等	不燃シートで養生し保管	第2洗濯室	A324	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-58	仕掛品(置場)	有り	ウエス, 紙類等	金属製容器に保管	第2洗濯室	A324	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	
	CB-59	少量未満危険物	無し	危険物第四類 シリンダー油	金属製設備に保管	ユーティリティ室	W004	無し	有り	有り (照明等)	有り	有り	有り	無し	

「セル」とは高い放射線量の放射性物質を扱うため、放射線の遮蔽と放射性物質の閉じ込めの観点から特別な構造を持たせた部屋であり、鉄筋コンクリート造建家の内部に設置している。

取り扱う放射性物質からの放射線の遮蔽のため、十分な厚さ(約30 cm～約160 cm)をもつ鉄筋コンクリート壁・床・天井で囲まれている。

- ・セルの内壁は汚染の染み込みを防止するためのエポキシ等の塗装仕上げ、ステンレス鋼製ライニングあるいはコンクリート打ち放し。
- ・溶液を扱うセルでは、貯槽等からの溶液の漏洩を想定して、漏洩液を集液・回収するためのステンレス鋼製ドリフトレイ、漏洩検知器、漏洩液回収設備を備える。

放射性物質の閉じ込めの観点から、貯槽内の換気のため貯槽の気相部は槽類換気系設備によって常時換気されている。セルも同様の観点から、セル・建家換気系設備によって常時換気されている。

- ・セル・建家換気系設備、槽類換気系設備により、貯槽・セル・建家内の圧力を常時負圧に保ち、圧力が建家、セル、貯槽の順に気圧が低くなるように管理している。

施設供用期間中は人が入れないため、人手による保守や交換が必要な設備を内部に配置しない設計。

- ・セル内に設置する溶液移送装置には電動ポンプではなく、エアリフトやスチームジェット、重力移送(サイフォン)のように機械的・電気的な駆動部を持たないものを使用している。
- ・計装にも電子・電気装置は用いず、圧縮空気を用いた圧力計測から液位や圧力を測定する。ただし、温度測定には熱電対を用いるが熱電対・信号ケーブルはステンレス製シース管に密封しセル内や貯槽内に露出させない。
- ・プラントの運転操作に用いるバルブ類も基本的にセル外に配置して操作。(セル内に配置する場合も操作や保守はセル外から行える構造としている。)
- ・人が入ることがないため、セル内には照明機器は設置していない。

高い放射線環境下で人が立ち入れないこと及び腐食性溶液(硝酸)を用いることから、貯槽・配管・ダクト・サポート等のセル内設置機器は保守が不要なようにステンレス鋼等の耐食性金属材料を使用。

これらの特徴を火災の観点から判断すると、人が通常入ることはなく、取り扱う放射性物質は不燃性(水溶液)で、設置された機器類・建家構造材・内装も不燃性材料であり、ケーブルを含む電気設備もセル内には存在しない。低い放射能濃度の水溶液からは放射線分解水素の発生も微小である。したがって、セル内には可燃物が無い状態である。

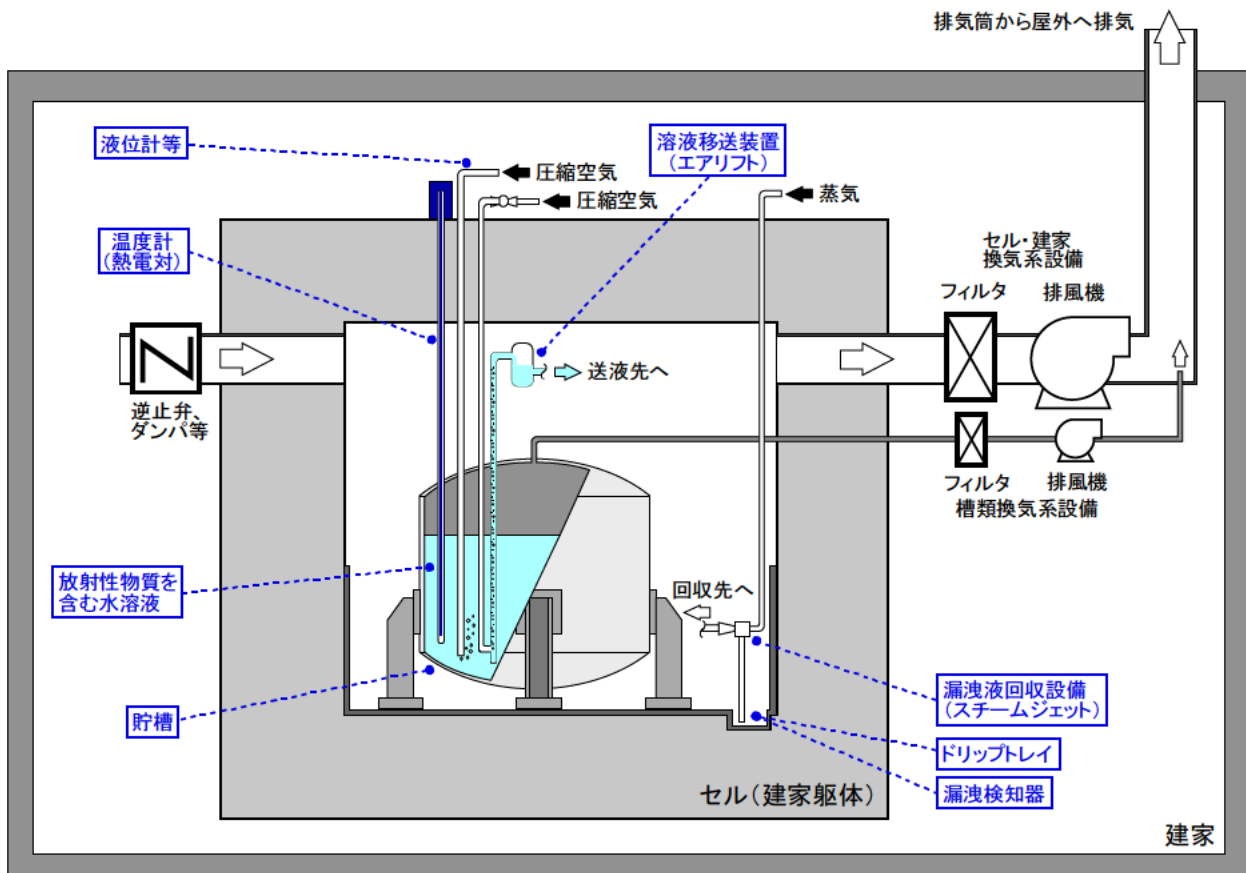


図2 セルの基本的な特徴

放射性物質を含む可燃物である有機溶媒を取り扱うセルにおいては、火災の発生防止、火災の感知、火災の消火のための設備を特別に設けている。

- 再処理施設では使用済燃料の溶解液(硝酸水溶液)中からU・Puを抽出(分離回収)するために、有機溶媒(30%TBP+n-ドデカンの混合溶媒)を使用することから、溶媒を扱うセルには溶媒火災対策を講じる設計。
- ・TBPの引火点は146℃、n-ドデカンの引火点は74℃であることから、溶媒を用いるプロセスの温度は60℃以下に制限する。
 - ・溶媒を送液するために使用しているポンプ等の電気機器は防爆構造としている。
 - ・貯槽等は接地して着火源となる静電気の発生を防止している。
 - ・貯槽内部での火災発生を検知し、炭酸ガス消火設備を自動起動する設備を設けている。
 - ・貯槽からセル内に溶媒が漏れいしたことを検知する設備を設けるとともに、漏洩した溶媒を回収する設備を設けている。
 - ・セル内での火災発生を検知するための警報装置を設けている。
 - ・セル内での火災の消火、貯槽内部での火災発生時の貯槽冷却のためにセル内に水噴霧消火設備を設けている。

施設供用期間中は人が入れないため、人手による保守や交換が必要な設備を内部に配置しない設計。

高い放射線環境下及び腐食性溶液(硝酸)を用いることから、貯槽・配管・ダクト・サポート等のセル内設置機器はステンレス鋼等の耐食性金属材料を使用。

放射性物質の閉じ込めの観点から、貯槽内の換気のため貯槽の気相部は槽類換気系設備によって常時換気されている。
セルも同様の観点から、セル・建家換気系設備によって常時換気されている。

- ・貯槽内を常時換気するため、引火性・爆発性のガスの滞留を防止できる。
- ・セル内部で火災が発生した時にはセル換気系の入気をダンパ等で遮断することで窒息消火を行う。

これらの特徴を火災の観点から判断すると、人が通常入ることはなく、設置された機器類・建家構造材・内装も不燃性材料であり、取り扱う放射性物質が可燃性(有機溶媒)であることから、有機溶媒の火災防止、火災検知及び消火の対策を講じている。なお、溶媒の移送に電動ポンプを用いる場合には設置場所がセルの内外に関わらず※防爆構造のものを採用している。

※一部でセル内に電動のポンプ・攪拌機を配置する場所があるが、その場合はセル外からポンプを取外・取付できるような特別な構造としている。

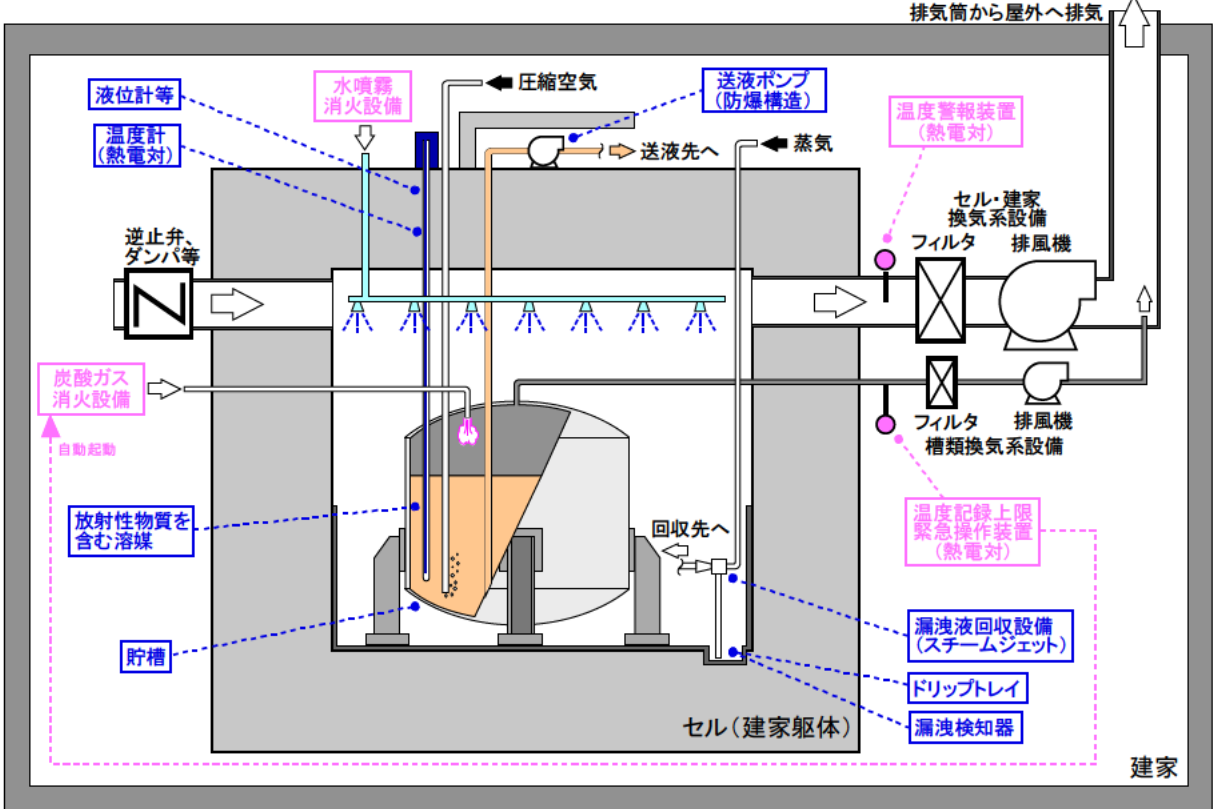


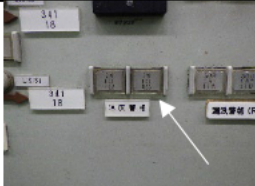
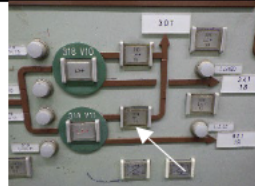


図3 可燃性の溶媒を扱うセルの特徴

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況		防護対象	・ 廃溶媒・廃希釈剤貯槽 (318V11) 金属製貯槽 密封構造
		設置場所 の状況	・ 地下1階 廃溶媒貯蔵セル (R023) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：無し
防護対象の 周囲の状況	 廃溶媒貯蔵セル (A090 閉止板) AAF-11-写 02	人の立入	・ 無し
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・ 無し
		火災感知設備	・ 槽類換気系配管に温度記録上限緊急操作装置 (318TRP+11) 及びセル換気系ダクトに温度警報装置 (318FDT023) を設置 廃棄物処理場 (AAF) 廃棄物処理場制御室 (G101) の制御盤にて感知可能。
		消火設備	・ 水噴霧消火設備 ・ 炭酸ガス消火設備

設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱電対	 熱電対		
	温度警報装置 (熱電対：A090) AAF-11-写 03①	温度記録上限緊急操作 装置(熱電対：A090) AAF-11-写 03②	温度警報装置制御盤 (G101) AAF-11-写 04①	温度上限緊急操作 装置制御盤 (G101) AAF-11-写 04①

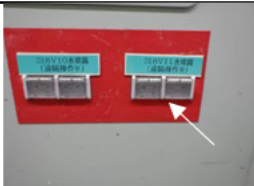

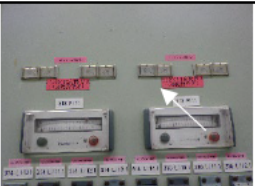

設置場所 の 消火方法 の状況				
	水噴霧消火設備 (操作盤：G101) AAF-11-写 07①	水噴霧消火設備 (制御弁：G180) AAF-11-写 07②	炭酸ガス消火設備 (操作盤：G101) AAF-11-写 07③	炭酸ガス消火設備 (制御弁：G180) AAF-11-写 07④

図4 溶媒等の可燃物を取り扱うセル内の防護対象の例

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 UNH 貯槽 (263V32) DN-01-写 01	防護対象	・ UNH 貯槽 (263V32) 金属製貯槽 密封構造	
		設置場所 の状況	・ 地下 1 階 UNH 貯蔵室 (A012) 天井：コンクリート (鋼板仕上げ) 壁：コンクリート 床：SUS ライニング (ドリフトレイ) 照明：有り	
		人の立入	・ 有り	
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・ 無し	
防護対象の 周囲の状況	 周囲 DN-01-写 02①	火災感知設備	・ 上部付近に煙感知器有り ウラン脱硝施設 (DN) 制御室 (G213) に受信機、 分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信 機において感知可能	
		消火設備	・ 消火器：約 10 m ・ 屋内消火栓：約 15 m	
	 壁 DN-01-写 02②	 天井 DN-01-写 02③	 床 DN-01-写 02④	
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 煙感知器 DN-01-写 03	 受信機 (G213) DN-01-写 04		
設置場所の 消火方法 の状況	 消火器 (ABC 消火器 : A015) DN-01-写 05	 屋内消火栓 (G021) DN-01-写 06		

図 5 人が立ち入るため照明設備等の火災源のあるセル外の防護対象の例

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 <p>回収ドデカン貯槽 (342V21) IF-03-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 回収ドデカン貯槽 (342V21) 金属製貯槽 密封構造 			
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地下1階 オフガス処理室 (A005) 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート (ステンレス仕上げ) 照明：有り 			
防護対象の 周囲の状況	 <p>周囲 IF-03-写 02①</p>	人の立入	・有り			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し			
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 槽類換気系配管に温度上限警報装置 (342TA+21.2) を設置し、上部付近に煙感知器有り。 焼却施設 (IF) 制御室 (G310) の受信機及び制御盤、分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機及び分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機において感知可能 			
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器 (ABC 消火器)：約 12 m 消火器 (車載式消火器)：約 3 m 屋内消火栓：約 15 m 水噴霧消火設備 炭酸ガス消火設備 			
	 <p>壁 IF-03-写 02②</p>	 <p>天井 IF-03-写 02③</p>	 <p>床 IF-03-写 02④</p>			
設置場所の 火災感知の 方法の状況	 <p>煙感知器 IF-03-写 03①</p>	 <p>温度上限警報装置 (熱電対：A005) IF-03-写 03②</p>	 <p>煙感知器 (受信機：G310) IF-01-写 04</p>	 <p>温度上限警報装置 (制御盤：G310) IF-03-写 04</p>		
	設置場所の 消火方法 の状況	 <p>消火器 (ABC 消火器： A005) IF-03-写 05①</p>	 <p>消火器 (車載 式消火器： A005) IF-03-写 05②</p>	 <p>屋内消火栓 (A002) IF-01-写 06</p>	 <p>水噴霧消火設備 (操作盤： A004) IF-02-写 07</p>	 <p>水噴霧消火設備 (制御弁： A005) IF-03-写 07①</p>

図6 溶媒等の可燃物を取り扱うセル外に設置された防護対象の例

「ライニング貯槽」とは建家の躯体（鉄筋コンクリート）内壁にステンレス製ライニングを設けて、その内部に直接、放射性物質を含む水溶液を貯蔵する、貯槽と建家の部屋が一体化した構造の貯槽。発生量が多いものの放射能濃度や酸濃度が比較的低い廃液の貯蔵に用いている。

取り扱う放射性物質からの放射線の遮蔽や溶液の圧力に耐えるため、十分な厚さ（約 40 cm～約120 cm）をもつ鉄筋コンクリート壁・床で囲まれている。

・内壁は汚染の染み込みを防止するためのエポキシ等の塗装仕上げ、ステンレス鋼製ライニングあるいはコンクリート打ち放し。

放射性物質の閉じ込めの観点から、貯槽内の換気のため貯槽の気相部は建家換気系設備によって常時換気されている。

施設供用期間中は人が入れないため、人手による保守や交換が必要な設備を内部に配置しない設計。

・内部の目視点検用にハッチが備えられているものもあるが、貯槽内部には照明器具等の電気機器は設置されていない。

人が立ち入れない構造であり、腐食性溶液（硝酸）を用いることから、ライニング貯槽内部に設置している装置は保守が不要なように、ステンレス鋼等の耐食性金属材料を使用。

これらの特徴を火災の観点から判断すると、人が通常入ることはなく、取り扱う放射性物質は不燃性（水溶液）で、貯槽構造材は不燃性材料であり、ケーブルを含む電気設備もセル内には存在しないため、ライニング貯槽内には可燃物が無い状態である。

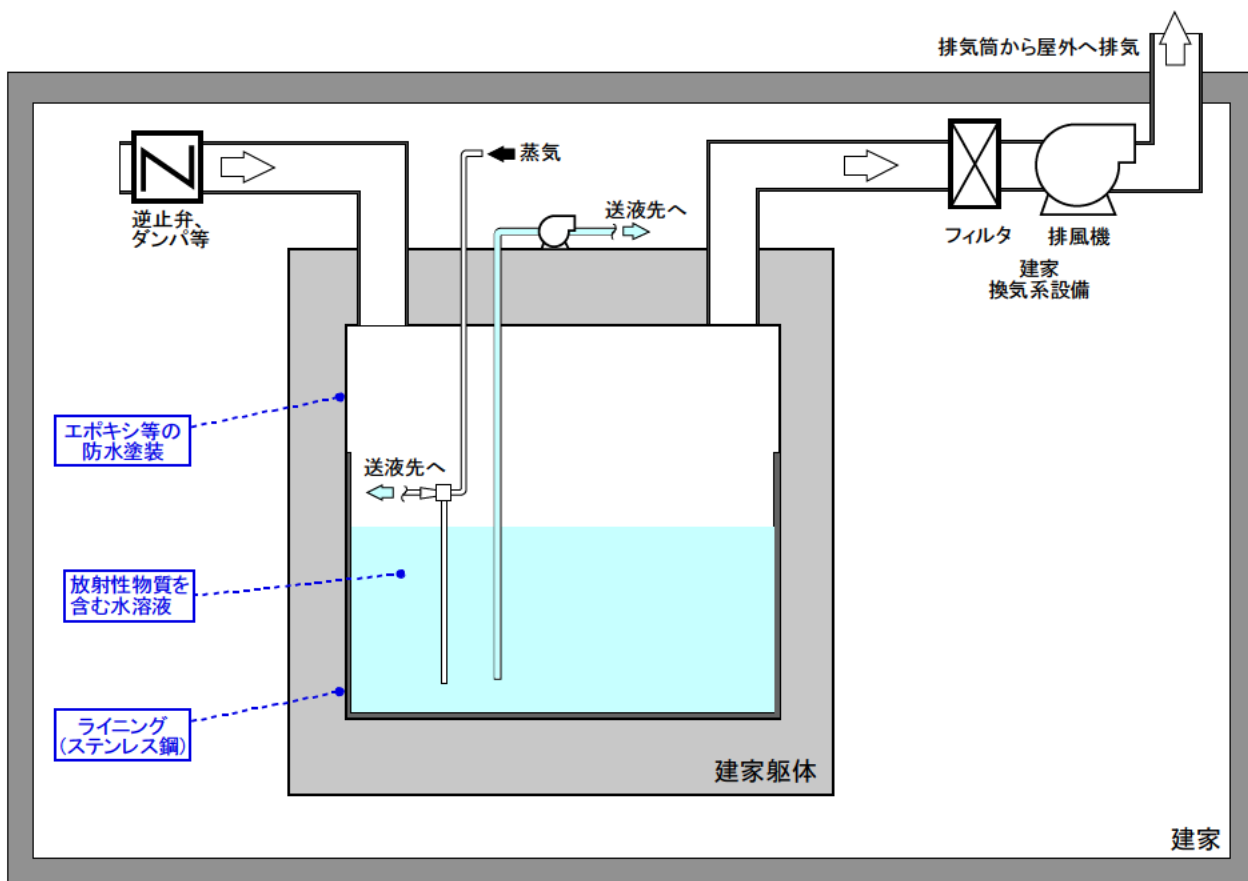


図7 ライニング貯槽の基本的な特徴


		火災防護上の特徴	
防護対象の設置状況		防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・廃液受入貯槽 (350V10) ライニング貯槽 密封構造
		設置場所の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地下1階～地下中1階 廃液受入貯槽 (A001) 天井：コンクリート (ポリクリート仕上げ) 壁：コンクリート (ステンレス仕上げ (一部ポリクリート仕上げ)) 床：コンクリート (ステンレス仕上げ) 照明：無し
防護対象の周囲の状況		人の立入	・無し
		防護対象近傍の危険物・可燃物	・無し
		火災感知設備	・無し
		消火設備	・無し
	 <p>壁 (A010 側) C-01-写 02</p>		
設置場所の火災感知の方法の状況			
設置場所の消火方法の状況			

図8 立入ができない部屋 (ライニング貯槽) の防護対象の例

火災防護上の特徴

防護対象 の設置状況	 <p>仕掛品 (置場) (A045 側) MP-32-写 01</p>	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> ・仕掛品 (置場) 金属製容器 非密封構造 			
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地上 1 階 濃縮ウラン溶解槽装荷セル操作区域 (G146) 天井 : コンクリート 壁 : コンクリート 床 : コンクリート 照明 : 有り 			
		人の立入	<ul style="list-style-type: none"> ・有り 			
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	<ul style="list-style-type: none"> ・無し 			
防護対象の 周囲の状況	 <p>周囲 MP-32-写 02①</p>	火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> ・上部付近に熱感知器有り 分離精製工場 (MP) 中央制御室 (G549) の受信機及び分析所 (CB) 安全管理室 (G220) の受信機において感知可能 			
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器 : 約 2 m ・屋内消火栓 : 約 2 m 			
		壁	 <p>MP-32-写 02②</p>	 <p>天井 MP-32-写 02③</p>	 <p>床 MP-32-写 02④</p>	
						設置場所の 火災感知の 方法の状況
 <p>受信機 (G549) MP-01-写 04</p>						
設置場所の 消火方法 の状況	 <p>消火器 (ABC 消火器 : G146) MP-32-写 05</p>		 <p>屋内消火栓 (G146) MP-31-写 06</p>			

図 9 セル外の火災源となりえるもの (仕掛品) における防護対象の例






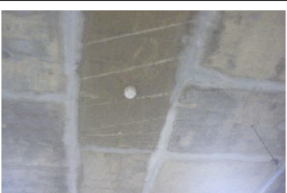



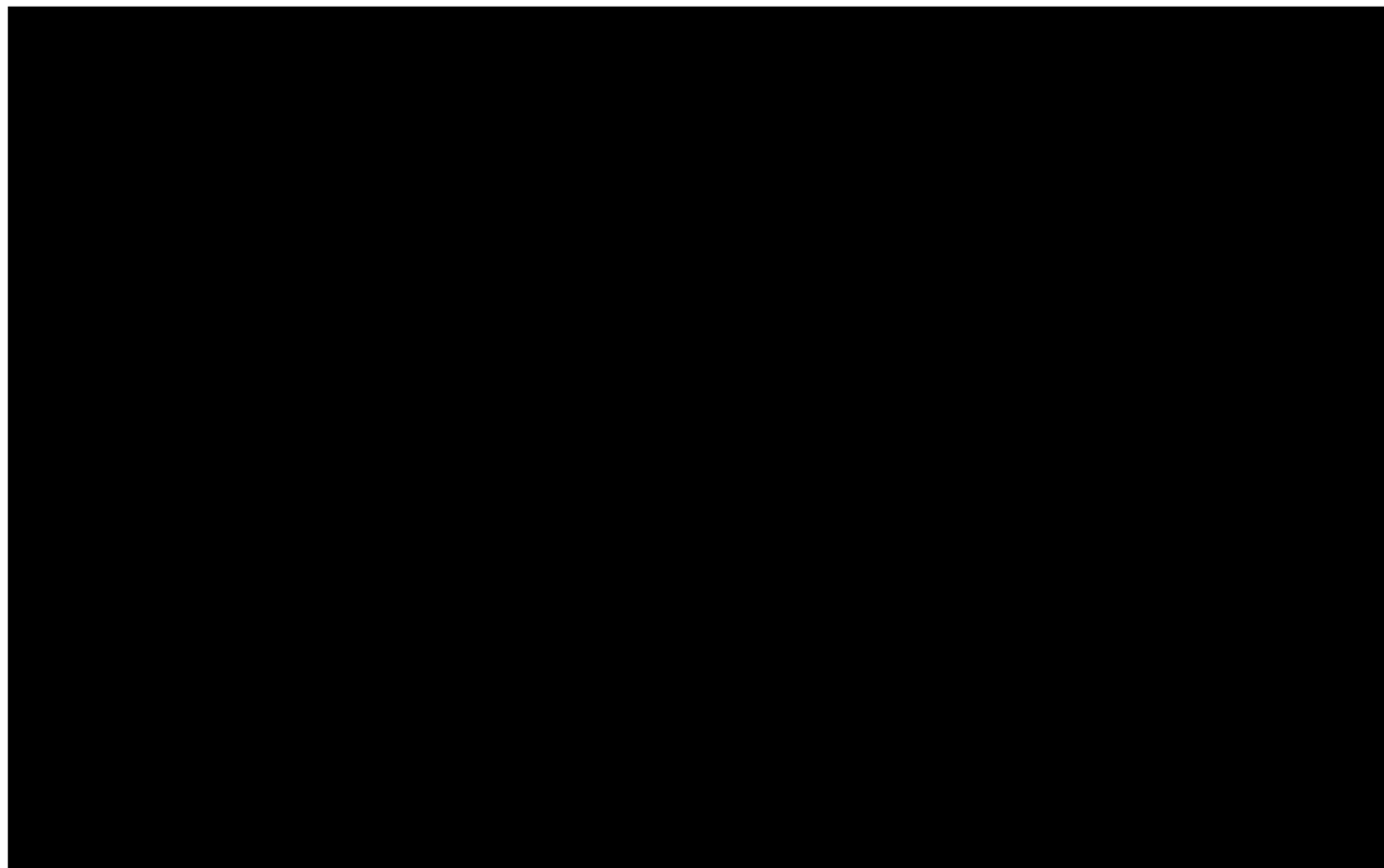
		火災防護上の特徴	
防護対象 の設置状況	 少量未満危険物 MP-54-写 01	防護対象	<ul style="list-style-type: none"> 少量未満危険物（ギヤー油等） 金属製棚（不燃シート養生） 非密封構造
		設置場所 の状況	<ul style="list-style-type: none"> 地上3階 倉庫（G3154） 天井：コンクリート 壁：コンクリート 床：コンクリート 照明：有り
防護対象の 周囲の状況	 周囲 MP-54-写 02①	人の立入	・有り
		防護対象近傍の 危険物・可燃物	・無し
		火災感知設備	<ul style="list-style-type: none"> 上部付近に熱感知器有り 分離精製工場（MP）中央制御室（G549）の受信機及び分析所（CB）安全管理室（G220）の受信機において感知可能
		消火設備	<ul style="list-style-type: none"> 消火器：約 12 m 屋内消火栓：約 24 m
	 壁 MP-54-写 02②	 天井 MP-54-写 02③	 床 MP-54-写 02④
	設置場所の 火災感知の 方法の状況	 熱感知器 MP-54-写 03	 受信機（G549） MP-01-写 04
	設置場所の 消火方法 の状況	 消火器（ABC 消火器：G3154） MP-54-写 05	 屋内消火栓（G346） MP-54-写 06

図 10 セル外の火災源となりえるもの（少量未満危険物）における防護対象の例



MP 地上1階

MP 地上3階





















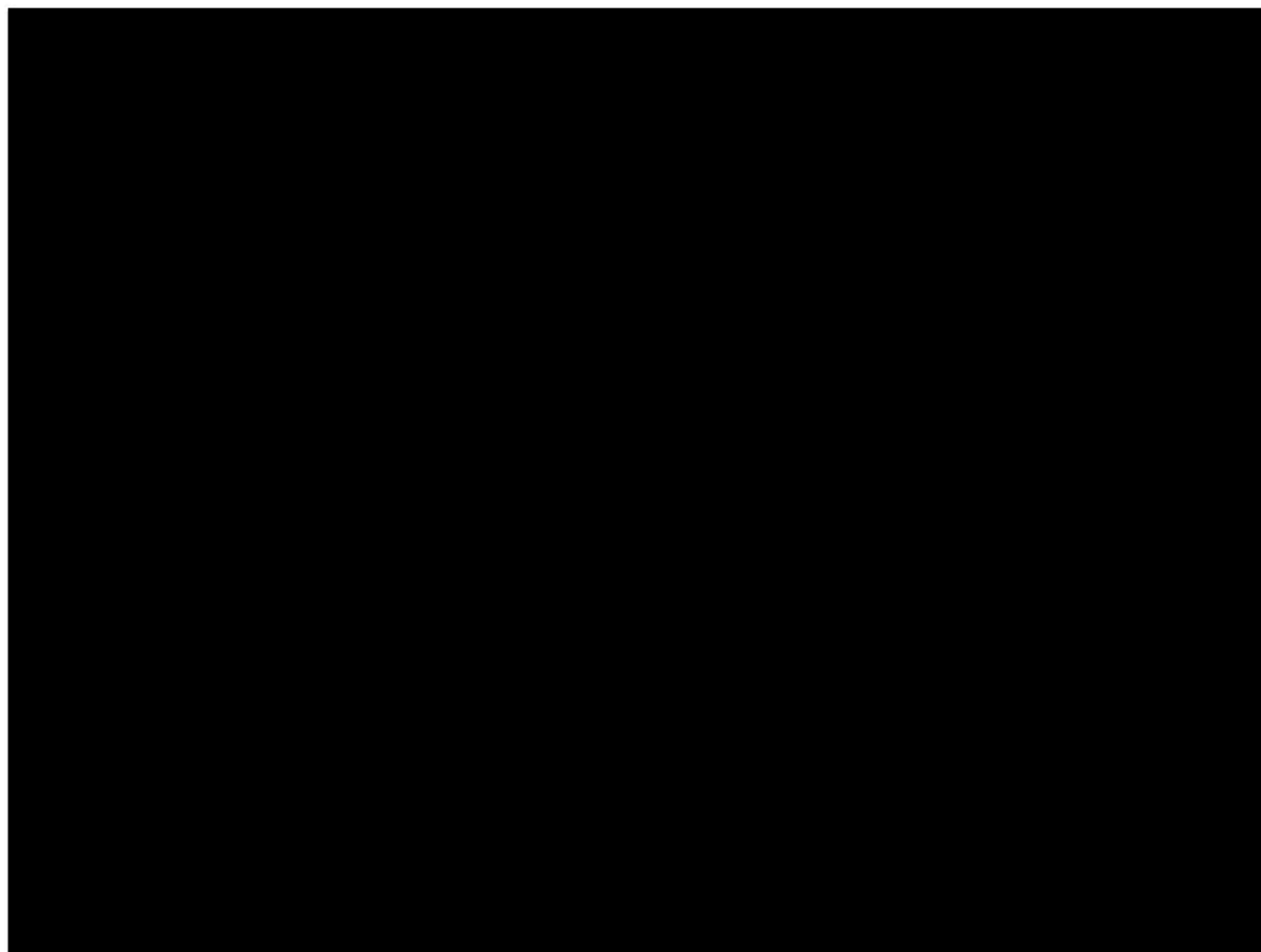
	管理区域
調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
	指定可燃物
火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防排煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報(FDT)
消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	金属火災用消火器
	ハロン消火器
	CO2消火器
	車載式消火器
	水噴霧消火設備
	粉末消火設備
	炭酸ガス消火設備
	連結送水設備送水口

図 11 分離精製工場(MP)クレーンホール(G1124)の仕掛品(置場:R0108)の移動又は撤去



















	管理区域
調査の対象	
	防護対象設備等
	廃棄物の仕掛品の保管場所
	廃棄物の仕掛品の置場
	危険物(少量未満危険物を含む。)
火災感知設備	
	熱感知器
	分布型熱感知器
	煙感知器
	防沫用煙感知器
	総合盤
	受信機
	セル内温度警報 (FDT)
消火設備	
	屋内消火栓
	ABC消火器
	CO ₂ 消火器
	連結送水設備送水口

図 12 分析所(CB)地上 3 階 廊下(G316)の少量未満危険物の移動又は撤去

溶媒を取り扱うセル及び防護対象の火災感知方法、消火方法について

溶媒を貯蔵する防護対象がある施設はスラッジ貯蔵場、廃溶媒貯蔵場、廃棄物処理場及び廃溶媒処理技術開発施設の 4 施設であり、溶媒を貯蔵する防護対象の貯槽内で火災が発生した場合の火災感知方法、消火方法及び貯槽内の溶媒がセル内に漏えいし、火災が発生した場合の火災感知方法、消火方法について以下に示す。

また、補足図に溶媒を扱うセル及び防護対象の火災感知設備及び消火設備を示す。

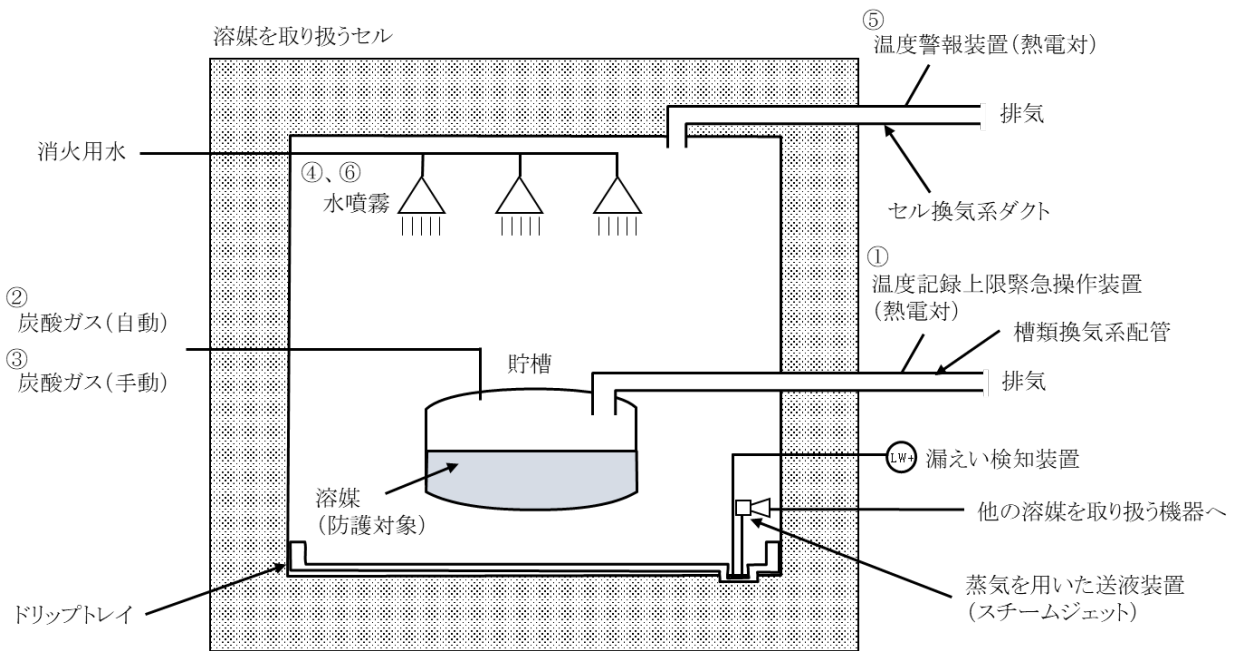
【貯槽内で火災が発生した場合の火災感知方法、消火方法】

- ① 貯槽の槽類換気系配管に設置された温度記録上限緊急操作装置の熱電対が 50℃を検知すると従業員が常駐する制御室に設置された制御盤の警報が吹鳴する(従業員が常駐していない制御室に設置された制御盤の映像信号は従業員が常駐する制御室へ伝送している。)
- ② ①の検知により、炭酸ガス消火設備が自動起動し、貯槽内に炭酸ガスを供給する。
- ③ ②の炭酸ガスの供給後、温度記録上限緊急操作装置の熱電対の温度上昇が継続している場合は、従業員が制御室に設置された炭酸ガス消火設備を手動起動し、追加の炭酸ガスを供給する。
- ④ さらに火災が継続するなどし、貯槽内の温度が上昇する場合は、従業員が制御室に設置された水噴霧消火設備を手動起動し、溶媒を取り扱うセル内に消火用水を噴霧して貯槽温度を低下させる。

【貯槽内の溶媒がセル内に漏えいし、火災が発生した場合の火災感知方法、消火方法】

- ⑤ セル換気系ダクトに設置された温度警報装置の熱電対が 70℃を検知すると従業員が常駐する制御室に設置された制御盤の警報が吹鳴する(従業員が常駐していない制御室に設置された制御盤の映像信号は従業員が常駐する制御室へ伝送している。)
- ⑥ ⑤の検知により、従業員が制御室に設置された水噴霧消火設備を手動起動し、溶媒を取り扱うセル内に消火用水を噴霧する。

なお、漏えいした溶媒は、床に設置されているドリフトレイ(ステンレス鋼製)に集液され、漏えい検知装置(LW+)が検知すると、従業員が常駐する制御室に設置された制御盤の警報が吹鳴する(従業員が常駐していない制御室に設置された制御盤の映像信号は従業員が常駐する制御室へ伝送している。)。その後、ドリフトレイに回収された溶媒については蒸気を用いた送液装置(スチームジェット)を手動起動し、他の溶媒を取り扱う機器へ送液する。



補足図 溶媒を扱うセル及び防護対象の火災感知設備及び消火設備

初期消火の体制について

再処理施設において、自動火災警報が吹鳴した場合、分離精製工場(MP)の中央制御室に設置された受信機(図 1)にて信号を検知し、当直長が緊急放送を行うとともに、直ちに従業員による現場確認を行う。現場確認において火災を発見した場合は、備え付けられた消火器や消火栓を用いて初期消火を行う体制となっている。公設消防への通報は、自動火災警報が吹鳴した時点で、直ちに当直長等が行う。

夜間・休日時においても、分離精製工場(MP)の中央制御室に7名、分析所(CB)の安全管理室に2名、廃棄物処理場(AAF)の制御室に3名、ユーティリティ施設の制御室に5名及びガラス固化技術開発施設(TVF)の制御室に3名が常駐しており現場確認、初期消火を行う体制としている。

さらに核燃料サイクル工学研究所には自衛消防隊として消防班が組織されている(図 2)。消防班は5分隊構成とし、そのうち1分隊は24時間即応が可能な常駐隊である。常駐隊を除く各分隊は8名の班員をもって編成し、常駐隊は4名の班員をもって編成している。また、自衛消防隊には消防タンク車3台、消防化学車1台が配備されている。

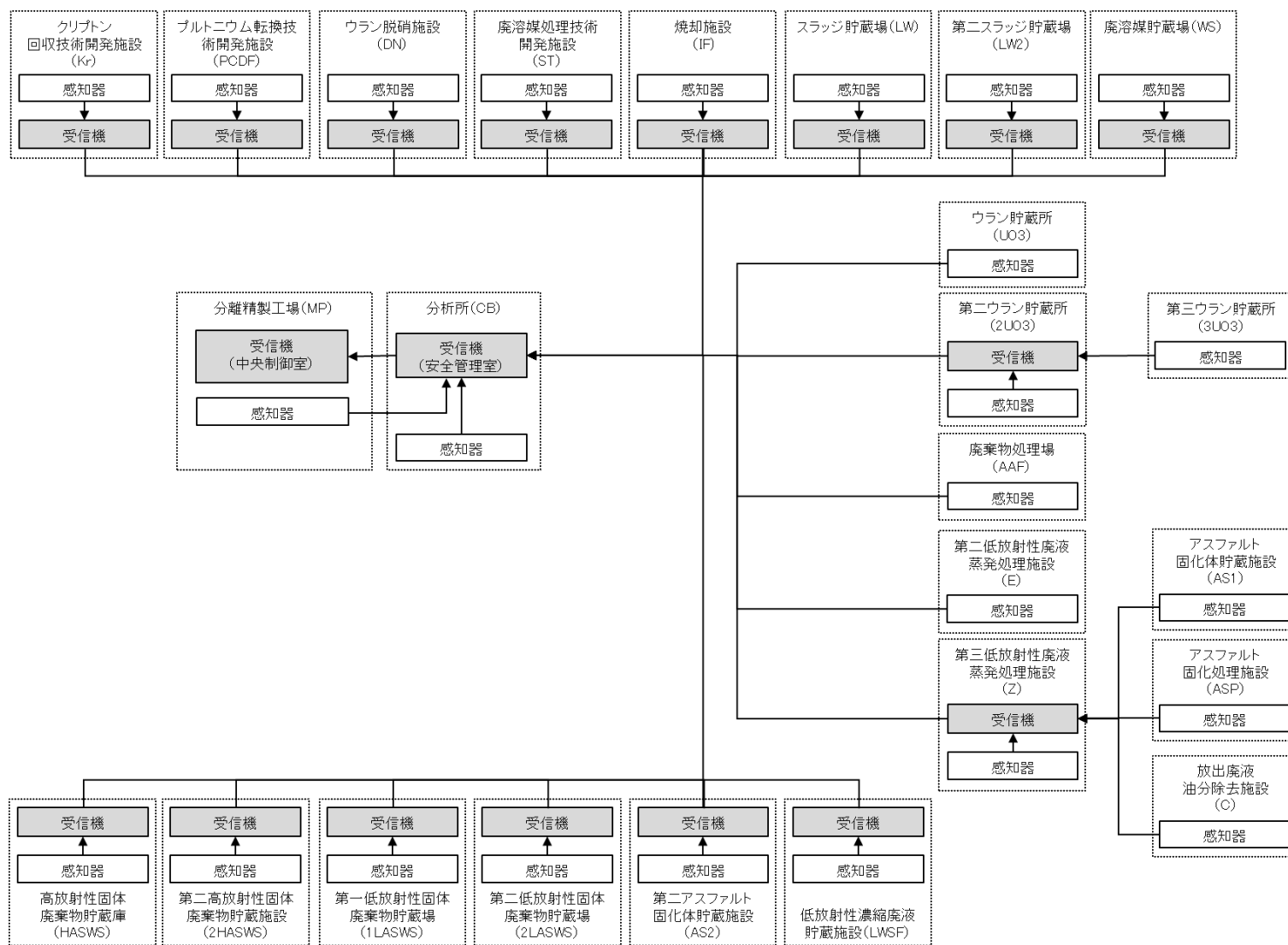


図1 火災感知設備の受信機の系統概要図

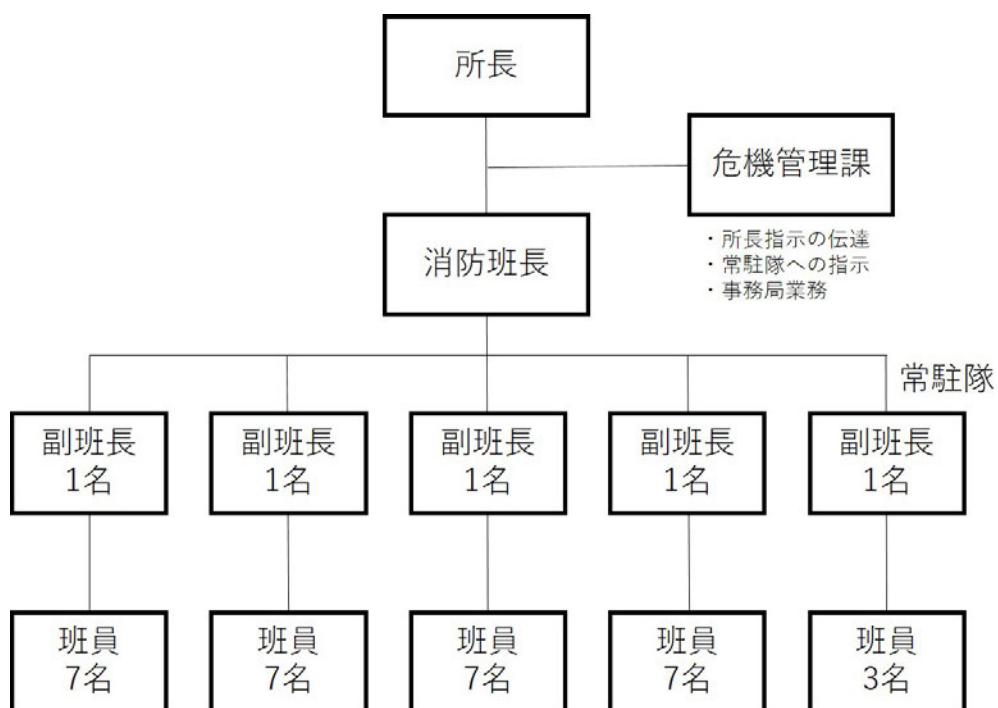


図 2 核燃料サイクル工学研究所自衛消防隊組織図

その他の施設の自動火災報知設備の維持管理について

その他の施設における自動火災報知設備(火災報知機及び受信機等)の状態を表1に示す。再処理施設では最も古い時期に建設された施設で建設から約50年が経過している。自動火災報知設備については、設備の設置以降、消防法等に定められた法定点検を継続的に実施しており、その際に不具合等が見つかった場合には直ちに交換を行うよう維持管理してきている。また、受信機等の一部はこれまでに設備更新を実施している。

一方、近年増加する火災報知機の誤報の原因として、その使用環境及び経年劣化が疑われるところであり、火災の感知の信頼性の観点から機構大で設備の状況の調査を進めており、併せて更新の計画的な実施に向けて取り組んでいるところである^{※1}。

再処理施設の廃止措置計画においては、表1に示したとおり廃止措置対象施設の管理区域解除まで約25～60年を要する(平成30年を起点)見込みである。今後の廃止措置を安全に進める上で、その期間の自動火災報知設備の適切な維持管理は火災防護の観点から重要であると認識している。これら設備の維持管理についてはこれまで通りに消防法等に基づく法定点検を継続するとともに、設備・台数が多いことから自動火災報知設備の設置環境、当該施設の持つリスク、日本火災報知機工業会や設備メーカーが示す推奨更新期間^{※2}を考慮した上で、計画的な更新を検討していく。

※1 坂下, 他, “日本原子力研究開発機構の自動火災報知感知器に関する調査－誤警報の低減に向けての検討－”, JAEA-Review-2022-012, 日本原子力研究開発機構 (2022)

※2 一般社団法人 日本火災報知機工業会, “既設の自動火災報知設備機器の更新について”及び“自動火災報知設備・総合操作盤の適正な維持管理について『定期交換部品のご案内』”, 平成30年8月

以上

表1 その他の施設の自動火災報知設備の状況

	その他の施設		設置年	設置年から の経過年数	管理区域解 除までの 計画期間 ^{※1}	受信機			検知器		
	施設名	略称				台数	型式	更新年	煙感 知器	熱感 知器	
先行四施設	1	分離精製工場	MP	1974	48	約30年	2	R、表示機	2000	238	294
	2	ウラン脱硝施設	DN	1984	38	約25年	1	P	2005	62	0
	3	プルトニウム転換技術開発施設	PCDF	1981	41	約25年	1	P	未更新	137	18
	4	クリプトン回収技術開発施設	Kr	1982	40	約25年	1	P	2021	117	2
ウラン貯蔵	5	ウラン貯蔵所	UO3	1974	48	約30年	— ^{※2}	—	—	0	20
	6	第二ウラン貯蔵所	2UO3	1977	45	約30年	1	P	未更新	6	45
	7	第三ウラン貯蔵所	3UO3	1979	43	約30年	— ^{※3}	—	—	32	2
固体廃棄物貯蔵	8	高放射性固体廃棄物貯蔵庫	HASWS	1972	50	約25年	1	P	2005	1	13
	9	第二高放射性固体廃棄物 貯蔵施設	2HASWS	1990	32	約50年	1	P	2018	196	17
	10	アスファルト固化体貯蔵施設	AS1	1982	40	約60年	1	表示機	未更新	45	34
	11	第二アスファルト固化体貯蔵施設	AS2	1987	35	約60年	1	P	未更新	164	41
	12	第一低放射性固体廃棄物貯蔵場	1LASWS	1985	37	約60年	1	P	未更新	75	8
	13	第二低放射性固体廃棄物貯蔵場	2LASWS	1979	43	約60年	1	P	2018	26	59
廃液貯蔵	14	スラッジ貯蔵場	LW	1974	48	約40年	1	P	1999	2	0
	15	第二スラッジ貯蔵場	LW2	1981	41	約40年	1	P	2006	20	1
	16	廃溶媒貯蔵場	WS	1981	41	約30年	1	R	2001	15	2
	17	低放射性濃縮廃液貯蔵施設	LWSF	2002	20	約60年	1	R	未更新	97	8
廃棄物処理	18	廃棄物処理場	AAF	1974	48	約60年	— ^{※2}	—	—	20	155
	19	第二低放射性廃液蒸発処理施設	E	1975	47	約60年	— ^{※2}	—	—	30	0
	20	第三低放射性廃液蒸発処理施設	Z	1979	43	約60年	1	P	1999	94	9
	21	放出廃液油分除去施設	C	1979	43	約60年	— ^{※4}	—	—	80	3
	22	廃溶媒処理技術開発施設	ST	1984	38	約30年	1	1	1	79	14
	23	焼却施設	IF	1991	31	約60年	1	P	2018	58	25
	24	アスファルト固化処理施設	ASP	1982	40	約50年	1	表示機	未更新	103	6
	25	分析所	CB	1974	48	約60年	2	P	1997	28	372

※1 廃止措置計画認可申請書「十. 廃止措置の工程」における「表10-1 廃止措置工程表」より(H30年起算)。

※2 分析所(CB)の受信機と共用

※3 第二ウラン貯蔵所(2UO3)の受信機と共用

※4 第三低放射性廃液蒸発処理施設(Z)の受信機と共用

廃溶媒(ドデカン)の管理状況について

東海再処理施設は再処理運転時に用いていた廃溶媒(ドデカン)を貯蔵している。廃溶媒(ドデカン)について焼却施設(IF)において今後焼却処理を行う。

廃溶媒(ドデカン)は可燃性蒸気が発生することから、廃溶媒(ドデカン)の可燃性蒸気に対する管理状況について下表のとおり整理した。

廃溶媒(ドデカン)を貯蔵する貯槽については漏洩し難い構造とし、接地して静電気を除去している。それら貯槽については強制換気し、廃溶媒(ドデカン)の送液に用いるポンプ(電動機)については防爆仕様のもを用いている。また、それら貯槽については、強制換気されたセル内等に設置されており、セル内等には基本的に電気設備等を設置していないが、廃溶媒処理技術開発施設(ST)及び焼却施設(IF)においてはセル外の部屋(保守区域)に廃溶媒(ドデカン)を貯蔵する貯槽を設置している。セル外の部屋(保守区域)には照明器具等が設置されている。

廃溶媒処理技術開発施設(ST)及び焼却施設(IF)の廃溶媒(ドデカン)を貯蔵する貯槽を設置する部屋の火災・爆発の防止対策の設計上の考えを以下に示す。

○廃溶媒処理技術開発施設(ST)

希釈剤中間受槽(328V25)及び希釈剤貯槽(328V30)を設置する希釈剤中間受槽室(A012)及び希釈剤貯槽室(A013)には設工認において照明器具等に対して防爆仕様のもを使用するとして認可を受けており、現在、防爆仕様の照明器具等を設置している。

○焼却施設(IF)

焼却施設(IF)においては設工認において「危険物を取り扱う設備をその内部に設置する室は十分な換気能力を有しているので爆発の危険性はない。」とし認可を受けており、回収ドデカン貯槽(342V21)を設置するオフガス処理室(A005)の照明器具等は防爆仕様となっていない。

以上

表 廃溶媒(ドデカン)を貯蔵する施設の仕様

施設名	貯槽の設置状況				廃溶媒(ドデカン)の 送液装置	貯槽の設置場所の状況		
	貯槽 名称	使用 容量 (L)	接地の 有無	貯槽内の 強制換気 の有無		部屋名	設置場所の 強制換気 の有無	電気設備 の有無
スラッジ 貯蔵場 (LW)	廃溶媒貯槽 (333V10)	20000	有	有	スチームジェット (蒸気による送液装置)	廃溶媒貯蔵セル (R031)	有	無
	廃溶媒貯槽 (333V11)	20000	有	有	スチームジェット (蒸気による送液装置)	廃溶媒貯蔵セル (R032)	有	無
廃溶媒 貯蔵場 (WS)	廃溶媒貯槽 (333V20)	20000	有	有	ポンプ (防爆仕様)	廃溶媒貯蔵セル (R020)	有	無
	廃溶媒貯槽 (333V21)	20000	有	有	ポンプ (防爆仕様)	廃溶媒貯蔵セル (R021)	有	無
	廃溶媒貯槽 (333V22)	20000	有	有	ポンプ (防爆仕様)	廃溶媒貯蔵セル (R022)	有	無
	廃溶媒貯槽 (333V23)	20000	有	有	ポンプ (防爆仕様)	廃溶媒貯蔵セル (R023)	有	無
廃棄物 処理場 (AAF)	廃希釈剤貯槽 (318V10)	20000	有	有	スチームジェット (蒸気による送液装置)	廃溶媒貯蔵セル (R022)	有	無
	廃溶媒 廃希釈剤貯槽 (318V11)	20000	有	有	スチームジェット (蒸気による送液装置)	廃溶媒貯蔵セル (R023)	有	無
廃溶媒処 理 技術開発 施設 (ST)	受入貯槽 (328V10, V11)	10000	有	有	ポンプ (防爆仕様)	廃溶媒受入セル (R006)	有	無
	洗浄槽 (328V20) 希釈剤受槽 (328V24) 希釈剤洗浄槽 (328V47)	1400 1500 1400	有	有	ポンプ (防爆仕様)	廃溶媒洗浄セル (R001)	有	無
	第1抽出槽 (328V21) 第2抽出槽 (328V22) 第3抽出槽 (328V23)	1500 1100 2700	有	有	ポンプ (防爆仕様)	希釈剤分離セル (R002)	有	無
	廃液洗浄槽 (328V40)	3700	有	有	ポンプ (防爆仕様)	廃液中和セル (R003)	有	無
	廃シリカゲル貯槽 (328V32)	20000	有	有	ポンプ (防爆仕様)	廃シリカゲル 貯蔵セル (R007)	有	無
	希釈剤中間受槽 (328V25)	1500	有	有	ポンプ (防爆仕様)	希釈剤中間受槽室 (A012)	有	有 (照明設備等 : 防爆仕様)
	希釈剤貯槽 (328V30)	20000	有	有	ポンプ (防爆仕様)	希釈剤貯槽室 (A013)	有	有 (照明設備等 : 防爆仕様)
	焼却施設 (IF)	回収ドデカン貯槽 (342V21)	2200	有	有	ポンプ (防爆仕様)	オフガス処理室 (A005)	有

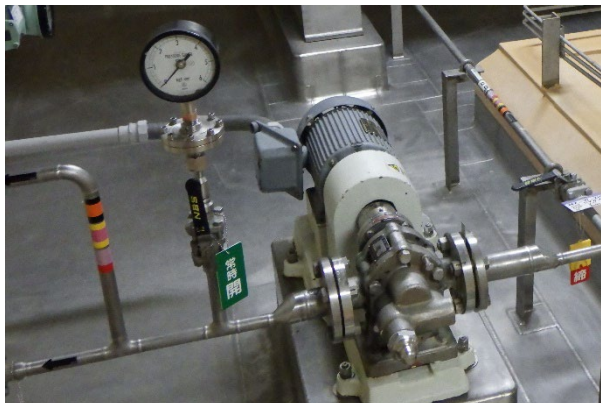


図1 防爆仕様の送液ポンプの例
(焼却施設(IF) のポンプ(342P211))



図2 防爆仕様の照明器具の例
(廃溶媒処理技術開発施設(ST))

東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール(案)

令和5年6月8日
再処理廃止措置技術開発センター

面談項目	令和5年																
	5月				6月					7月				8月			
	～5日	～12日	～19日	～26日	～2日	～9日	～16日	～23日	～30日	～7日	～14日	～21日	～28日	～4日	～11日	～18日	～25日
廃止措置計画変更認可申請に係る事項																	
系統除染等に係る変更認可申請等																	必要に応じて適宜説明
当面の工程の見直しについて																	必要に応じて適宜説明
LWTFの計画変更 セメント固化設備及び 硝酸根分解設備の設置 等				▼25	▼1	▽8	▽15	▽22									進捗状況を適宜報告
保全の方針/性能維持施設の見直し		▼11															必要に応じて適宜説明
その他		▼11 ▼11	▼18	▼25 ▼25	▼1	▽8 ▽8	▽15 ▽15	▽22 ▽22									
廃止措置の状況																	
ガラス固化処理の進捗状況等			▼18		▼1	▽8	▽15	▽22									進捗状況を適宜報告
工程洗浄		▼11	▼18		▼1		▽15										進捗状況を適宜報告

▽:面談 ◇:監視チーム会合